

阪南市埋蔵文化財報告 XXVII

馬川遺跡

— 94-4区 —

2001年

阪南市教育委員会

はしがき

当市は、大阪府の南部に位置し、大阪市のベッドタウンとしての性格を持っています。このため近年、耕地や山林が住宅地として、開発されるケースが増加しています。

市内には、約60ヶ所の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）が知られ、上記のような開発行為に伴い発掘調査が年間数十件行われています。本書もこうした開発工事の事前に、記録保存のために実施した発掘調査の報告です。

馬川遺跡は、当市の東端部を流れる男里川西岸の河岸段丘の段丘上と段丘下に拡がっており、過去の調査例から、段丘下では、主に弥生時代から奈良時代にかけての遺跡として、段丘上では、主に古代末期から中世期の寺院が存在していた遺跡として知られていました。

本書で報告を行う調査地は、このうちの段丘上に位置しています。中世期以前の寺院と直接結びつくようなものは、確認されませんでしたが、中世期の蜻蛉を焼いた窯跡や近接の寺院に関係すると思われる遺構や遺物が検出されました。

以下にこれらについて報告いたします。

末筆ですが、本調査に、快くご協力をいただいた土地所有者をはじめ関係者の方々に深く感謝いたします。また、今後とも本市の文化財保護行政のご理解、ご協力をよろしくお願ひいたします。

2001年3月

阪南市教育委員会

教育長 川村一郎

例　　言

1. 本書は、阪南市下出所在の馬川遺跡発掘調査の報告書である。
2. 本調査は阪南市教育委員会生涯学習推進課が実施し、同課職員三好義三、田中早苗、上野仁が担当として実施した。
3. 本書内に示した標高は、T.P.であり、方位は既製の地形図などを使用したものをお除いて磁北である。
4. 調査にあたっては、調査地の土地所有者等関係者各位の理解と、協力を得た。ここに記して感謝の意を表したい。
5. 本書の執筆・編集は、上記の調査担当者が行った。また、実測図等の作成は、下記の調査従事者による。
6. 本調査における記録は、実測図、写真、カラースライド等に保存されている。当生涯学習推進室にて保管しているので、広く活用されたい。

(調査従事者)

和田旬世、井上祥子、井上　進、外池美渡里、井上賢二、村上亮平、中橋　泉、丹羽　徹、室谷順子、川満一隆、新矢和広、射手矢由紀子、福森由記、木村真喜

目　　次

第1章　調査に至る経過	1
第2章　歴史的環境	
第1節　阪南市域の状況	2
第2節　馬川遺跡周辺の状況	4
第3章　調査の成果	
第1節　基本層序	8
第2節　遺構と遺物	14
第4章　考察	38

第1章 調査に至る経過

阪南市は、大阪府の南部に位置し、関西空港の開港や、大阪のベッドタウンとしてここ数年、様々な開発行為が急増している。埋蔵文化財包蔵地内の土木工事に伴う届出（通知）件数も増加しており1985年度に7件であった届出件数が、1995年度は96件、1996年度は124件、1997年度は104件、1998年度は90件、1999年度は119件、2000年度は110件にものぼった。

本調査は共同住宅建設に先立って行われたもので、遺構、遺物の存在を確認するため、第1次調査として、調査区内に2ヵ所のトレンチを設定して行った。この結果、近世期の蔵骨器を伴う墓坑と、肥溜として使用されたと思われる土師質土器の大甕が出土した。

その後、届出者との協議の結果、工事の掘削によって遺物包含層や遺構が影響を受ける部分について、第2次調査を実施した。以下にその結果を報告したい。



第1図 阪南市位置図

第2章 歴史的環境

第1節 阪南市域の状況

阪南市域の人類の歴史の始まりは、神光寺（蓮池）遺跡と向山遺跡で採取された縄文時代草創期の有茎尖頭器によって推定される。その後、向出遺跡と馬川北遺跡で後期や晚期の遺物が出土するまでの詳細はいまだ不明である。

弥生時代になると馬川遺跡で前期の遺物は出土したが、遺構は今のところ発見されていない。神光寺（蓮池）遺跡と自然田遺跡では中期～後期、鳥取南遺跡と向出遺跡で後期の生活の跡が確認されている。その他にも遺構は伴わないが、市内数ヶ所の遺跡より後期の遺物が出土している。また、尾崎海岸遺跡からは弥生時代終末期から古墳時代初期の製塩跡が発見された。

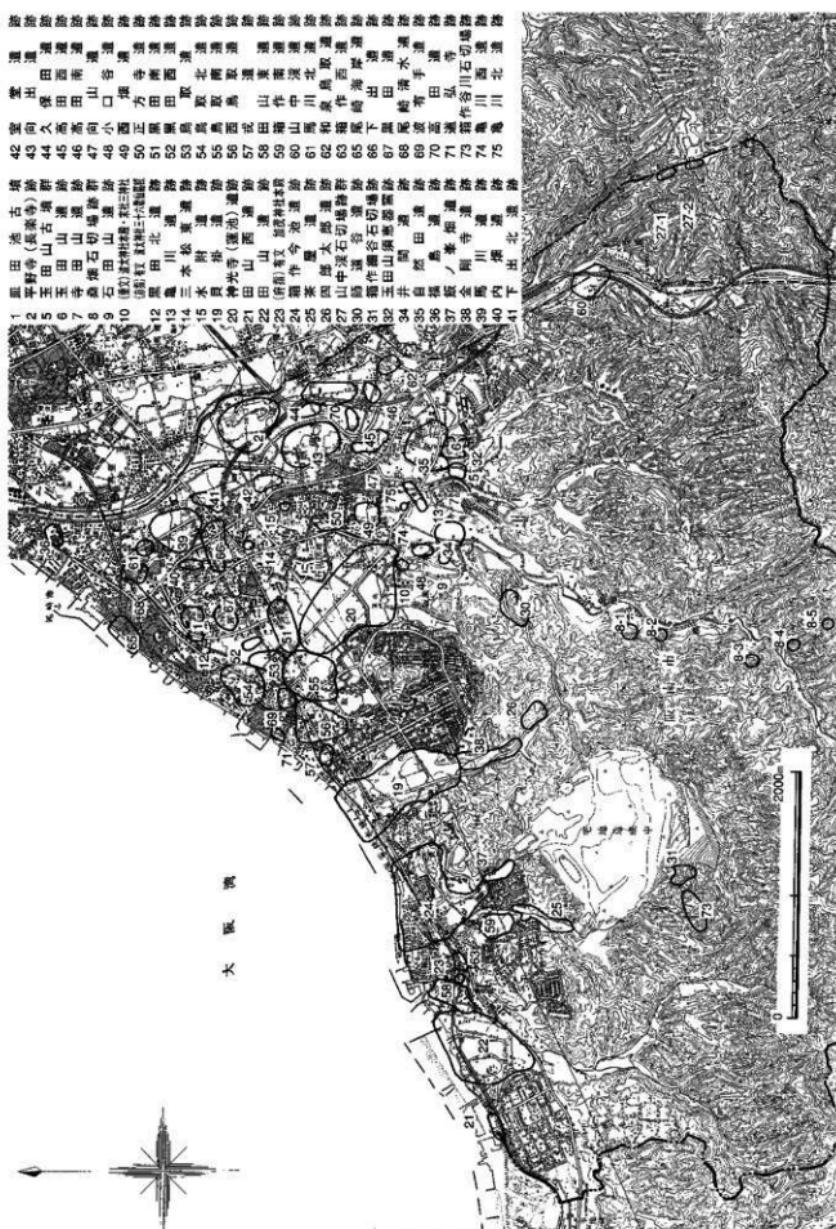
古墳時代になると向出遺跡や向山遺跡などで前期の遺物は出土しているが、遺構は検出していない。中期～後期には亀川遺跡において竪穴住居や滑石製玉類、製塩土器が発見された。箱作古墳、皿田池古墳も中期古墳といわれているが、調査がされないまま破壊されてしまったため詳細は不明である。塚谷古墳群、玉田山古墳群、高田山古墳群は、後期古墳として知られている。高田山古墳群以外は調査が行われ、それなりの成果が揚げられている。

奈良時代になると波有手遺跡、貝掛遺跡、箱作今池遺跡で、公的施設と思われる遺構、遺物が検出されているほか、田山遺跡では漁撈村落の存在がうかがえる。また、道弘寺遺跡では瓦を焼いた平窯が発見され、地元で言い伝えられている道弘寺の存在が、より現実となった。

平安時代末期には平野寺（長楽寺）跡の存在が出土瓦から推定される。また、「蟻の熊野詣」といわれて賑わった熊野街道が市域の南東部を通っている。

中世期以降の遺構、遺物は市内のほとんどの遺跡で確認されている。下出遺跡では100を越えるピット群が検出され、墓地関係遺構と推定されており、若干の軒瓦も出土していることから、寺院の存在も考えられる。その他に、特筆すべきものに、14世紀の山城である井山城跡の発見が揚げられる。

近世期には箱作村の主要産業としての石切場が有名である。過去の調査では、石切場跡の他にもその加工場の村が発見されている。現在の新興住宅地を除く集落は、近世期の集落とほぼ一致するものと思われる。また、それらを結ぶように街道が発達した。



第2図 阪南市埋蔵文化財分布図

第2節 馬川遺跡周辺の状況

馬川遺跡は阪南市の北東部、男里川の西側に位置し、砂洲である低地部と和泉山脈より派生する段丘部分にまたがっている。1987年（昭和62年）の分布調査で土師器、須恵器、サヌカイトなどが採集されたことから発見、周知された。

本遺跡は北部を縄文時代後期から弥生時代中期の流路を検出した馬川北遺跡に、南部を中世期の墓地を検出した下出遺跡に、また、西部を平安時代から近世期の遺物を検出する内畠遺跡によって囲まれている。また、男里川東側には縄文時代以降の複合遺跡として知られる男里遺跡（泉南市）が存在する。

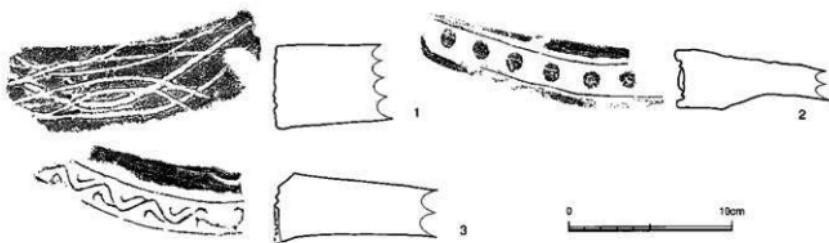
馬川遺跡内では大規模な発掘調査が実施されていない為、遺跡の詳細な性格は把握されていないが、過去20数回の小規模な調査の結果（第4図・別表1）によると、男里川の段丘上である東部と段丘下の西部では遺跡の性格が異なっており、主に東部の低地部のトレンチからはサヌカイト、弥生土器、土師器、須恵器など、弥生時代～奈良時代の遺物が比較的多く出土している。また、西部段丘上からは瓦器、瓦、焼土塊、陶磁器など、中世期～近世期の遺物が多く出土している。

また、以前より下出（馬川遺跡周辺の地名）出土と明記された鎌倉時代の複弁蓮華文軒丸瓦片が大阪府立岸和田高校に所蔵されており、寺院の存在を考えられていたが、89-1区の市教育委員会における調査で同瓦が出土した。その後、93-3区から多量の中世瓦、97-3区からは均整唐草文軒平瓦が出土した。（第3図）

今回調査地区の隣地には浄土宗知恩院末寺の大願寺があり、永禄3（1560）年、下出辻の太夫の出身善心尼により辻野道場として開基されるとある（文献史料）。門前には天文15（1546）年、像高約1.9mの地蔵石像が安置されており、大願寺南部に存在した極楽寺から移されたものといわれている。また境内墓地には『泉州志』を記した石橋直之の墓がある。遺跡の南部には信長街道が東西に通り、それに面して下出演堂薬師（文献史料）があったと伝えられる。演堂薬師は現在、大願寺境内に移されている。

参考文献

- 『東鳥取村史』 東鳥取村役場 1958年
- 『阪南町史上巻』 阪南町役場 1983年
- 『阪南町史下巻』 阪南町役場 1977年
- 『阪南市埋蔵文化財報告Ⅷ』 阪南市埋蔵文化財調査概要Ⅲ 阪南市教育委員会 1989年
- 『阪南市埋蔵文化財報告Ⅸ』 阪南市埋蔵文化財調査概要Ⅳ 阪南市教育委員会 1989年
- 『阪南市埋蔵文化財報告Ⅹ』 阪南市埋蔵文化財調査概要Ⅴ 阪南市教育委員会 1990年
- 『阪南市埋蔵文化財報告 XII』 阪南市埋蔵文化財調査概要Ⅶ 阪南市教育委員会 1992年
- 『阪南市埋蔵文化財報告 XVI』 阪南市埋蔵文化財調査概要Ⅸ 阪南市教育委員会 1993年
- 『阪南市埋蔵文化財報告 XVII』 阪南市埋蔵文化財調査概要Ⅹ 阪南市教育委員会 1994年
- 『阪南市埋蔵文化財報告 XIX』 阪南市埋蔵文化財調査概要 X 阪南市教育委員会 1995年
- 『阪南市埋蔵文化財報告 XXI』 阪南市埋蔵文化財調査概要 XI 阪南市教育委員会 1996年
- 『阪南市埋蔵文化財報告 XXII』 阪南市埋蔵文化財調査概要 XII 阪南市教育委員会 1997年
- 『阪南市埋蔵文化財報告 XXIII』 阪南市埋蔵文化財調査概要 XIII 阪南市教育委員会 1998年
- 『阪南市埋蔵文化財報告 XXV』 阪南市埋蔵文化財調査概要 XIV 阪南市教育委員会 1999年
- 『阪南市埋蔵文化財報告 XXVI』 阪南市埋蔵文化財調査概要 XV 阪南市教育委員会 2000年



	出土地区	種類	法量(cm)	手法	胎土	焼成	色調
1	93-2	線刻文軒平瓦	瓦当厚 5.1 長さ 7.2 幅 残15.5	凹面 斜め糸切り痕、 布目模、離れ砂 平行縦目叩き 額形態 直線	密	良好	外面 断面 黑灰色 白灰色
2	93-2	連珠文軒平瓦	瓦当厚 3.8 長さ 9.4 幅 残16.0	凹面 布目模、指サエ、 ヘラ削り 凸面 ヘラ削り、離れ砂 額形態 段有り	密	良好	外面 断面 暗灰色 淡灰色
3	97-3	均整唐草文 軒平瓦	瓦当厚 4.3 長さ 13.5 幅 残15.5	凹面 斜め糸切り痕、 布目模、離れ砂 凸面 ヘラ削り、離れ砂 額形態 曲線	密	やや軟	外面 断面 灰色 乳黄白色

第3図 馬川遺跡出土軒瓦

文献史料

(表 続)

元禄四年
和泉国日根郡今井七良兵衛
御代官所社帳控
未十月

泉州日根郡下出村 一淨土宗 本寺知恩院 一境内 新檢 九畝廿武歩	古檢無年貢地新檢除地 但し、村内日根郡支配	大願寺住持 譲 新村達
---	--------------------------	----------------

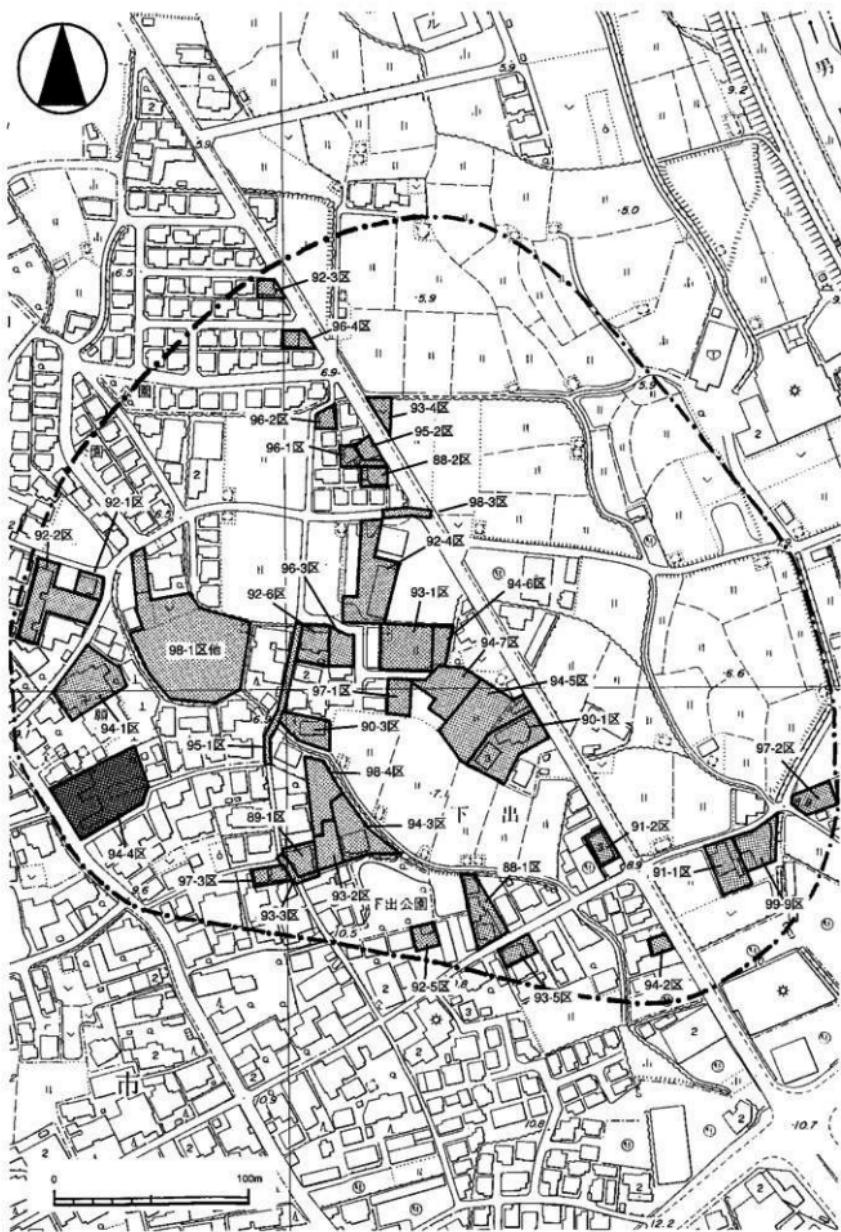
一淨土宗 本寺同村大願寺
境内平地 老反三畝廿六步
但新檢無年貢地
但村中支配
大願寺住持
譲
新村達
於其所ノ年老僕ものノ相尋候申候、善心比丘尼開基之由申伝候旨申候、
比丘尼像之由ヘ石切付、永祿十二年二月十五日ナ有
之候、二月十五日ハ善心忌日と相見ヘ候、脇、鳥取下出
村辻道場と切付有之候、古來大願寺ヲ辻道場と申候哉と
存候旨所ノ者申候、於其所ノ年老僕ものノ相尋候申候ニ、
今年七才、成候者七、八年の比々見対、今退転不
仕候、古来タ有之等より聞伝候旨申候、段々送吟味
候也、古来タ有之矣由申候ニ付、書記善出申候

一開基年号不知

古來無年貢地
但新檢除地
但村中支配

大願寺住持
譲
新村達

當之築札之由、て出之出之築札、慶長十二年と有之候、
於其所年老僕ものノ相尋候、今年七才、成候者七、
八才の頃タ見対、今退転不仕候由、古来タ有之矣由申
候也、古來無年貢地所、古來タ有之矣由申候ニ付、
書記善出申候、發々善出申候、



第4図 馬川遺跡既往の調査区

別表1 馬川遺跡既往の調査結果

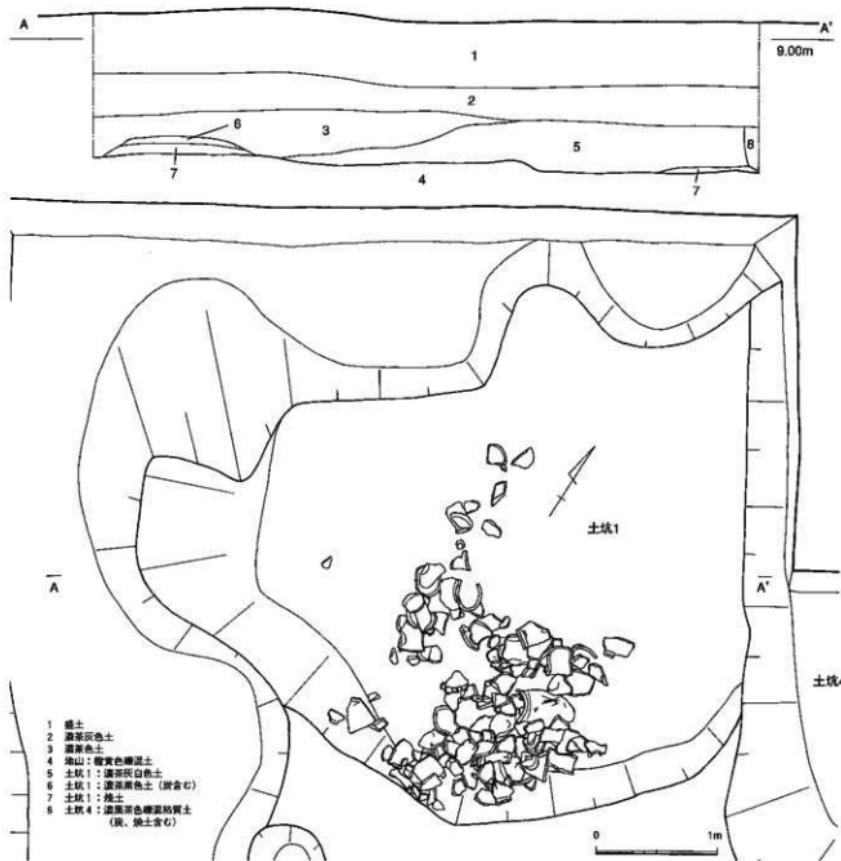
地区名	遺構	遺物
88-1	溝2	土師器、土師質土器、磁器、サヌカイト
88-2	溝2、ビット1	土師器、須恵器、土師質土器、須恵質土器、磁器、サヌカイト
89-1		土師質土器、軒丸瓦
90-1	溝	七師器、須恵器、陶器
90-3		土師器、須恵器、瓦器、瓦質土器、陶器、瓦、土師質管状土錐、サヌカイト
91-1		土師質土器、磁器、婧壺、瓦
91-2		土師器、須恵器、黒色土器、瓦器、須恵質土器、土師質土器、婧壺、陶器、瓦、焼土塊、鉛滓
92-1		土師質土器、瓦質土器、瓦、磁器、瓦器
92-2		土師器、土師質土器、瓦、婧壺、陶器、磁器、鉄釘、焼土塊
92-3	土坑	土師器、須恵器
92-4	ビット、土坑	土師器、須恵器、瓦器、婧壺、サヌカイト
92-5		土師質土器、瓦質土器、青磁、瓦
92-6		土師器、瓦質土器、青磁、陶器、瓦
93-1		土師器、土師質土器
93-2		土師質土器、瓦
93-3		土師質土器、瓦
93-4		土師器、須恵器、瓦器、陶器、磁器、婧壺、土師質管状土錐
93-5	土坑	土師器、須恵器、土師質土器、白土器、陶器
94-1	ビット、溝	土師質土器、磁器、婧壺、近世瓦、墓石
94-2		土師器、瓦器
94-3	溝	土師器、須恵器、瓦、サヌカイト
94-4	本稿	本稿
94-5		土師質土器
94-6		土師質管状土錐、青磁
94-7		弥生土器、土師器、須恵器、婧壺
95-1		弥生土器、須恵器、黒色土器、土師質土器、瓦器、瓦質土器、陶器、磁器、瓦、土師質管状土錐
95-2		土師器、須恵器、瓦器
96-1		須恵器
96-2		土師器、須恵器、土師質土器、瓦器、磁器、婧壺
96-3	溝、ビット	須恵器、黒色土器、土師質土器、瓦、石臼
96-4		土師質土器
97-1		弥生土器、土師器、須恵器、縁泥片岩
97-2		土師質土器（漆焼）、瓦
97-3	井戸、溝	磁器、瓦
98-1他	落ち込み、ビット、溝	弥生土器、土師器、須恵器、瓦器、土師質土器、瓦質土器、須恵質土器、白土器、青磁、土師質管状土錐、土師質有孔土錐、婧壺、瓦、焼土塊、サヌカイト
98-3		土師質土器、陶器、磁器
98-4	土坑	土師質土器、陶器、瓦
99-9		土師器、瓦器

第3章 調査の成果

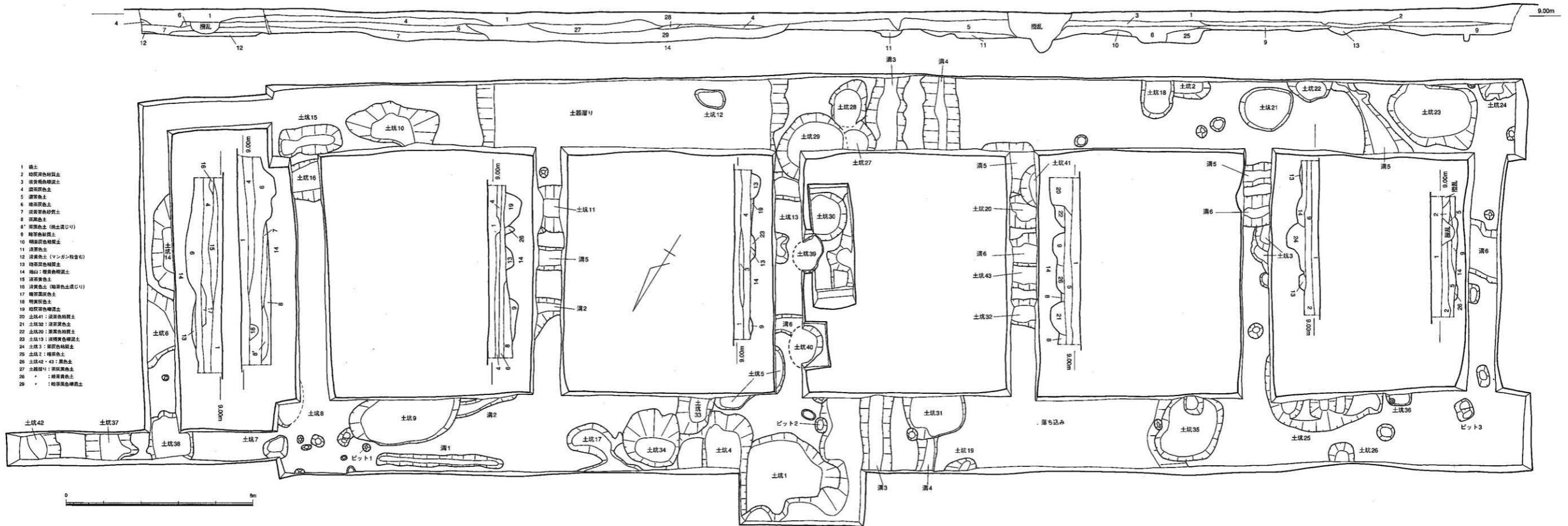
第1節 基本層序 (第5図)

基本層序は東部と西部で大きく異なっており、トレンチ全体に亘がっているのは盛土と濃茶灰色土層、橙黄色礫混土の地山である。

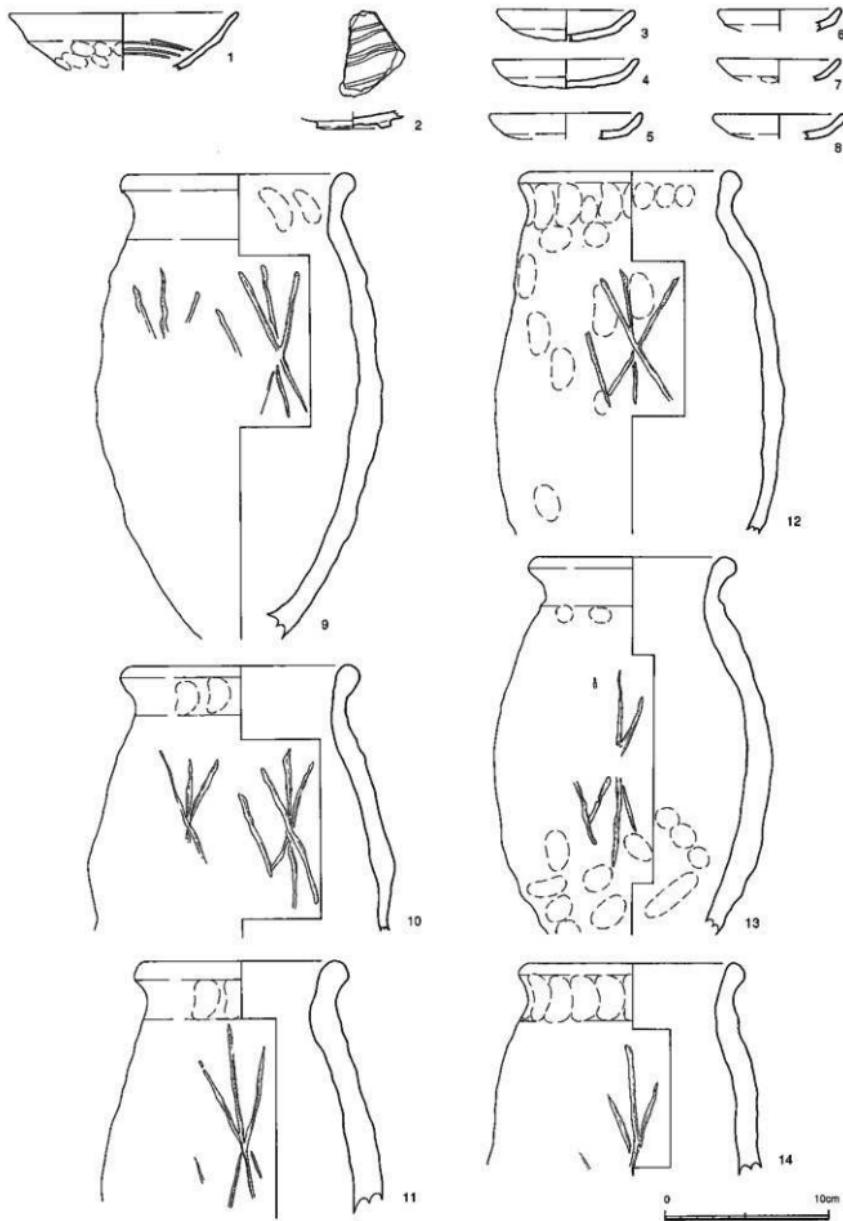
盛土直下の濃茶灰色土層と茶黒色土層の間に、東部では暗茶灰色土層と淡黄茶色砂質土層があり、西部では濃茶色土層が存在する。地山の上は暗茶色粘質土である。暗灰茶色粘質土層は19世紀、濃茶色土層、暗茶灰色土層、淡黄茶色砂質土層、茶黒色土層、暗茶色粘質土層は18世紀の層である。各層の出土遺物は後に述べる。なお、遺物の詳細については遺物観察表を参考にされたい。



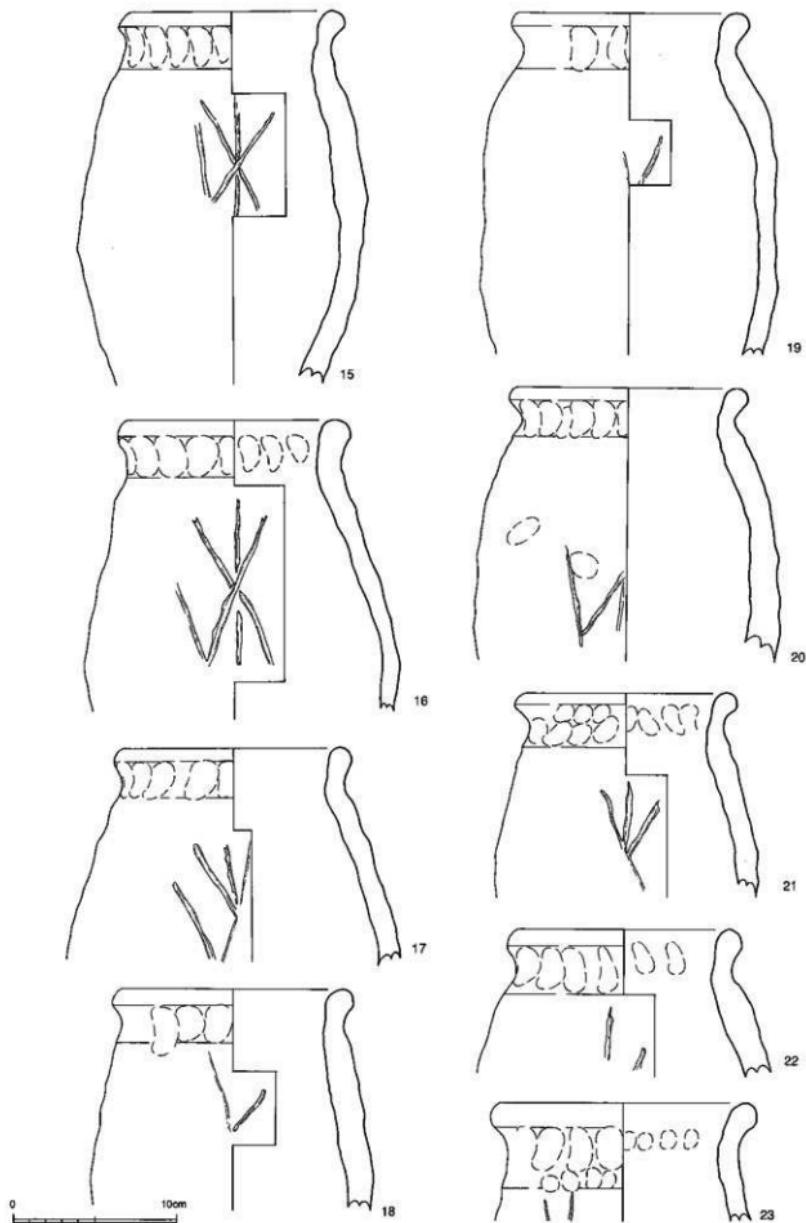
第6図 土坑1 平面図・断面図



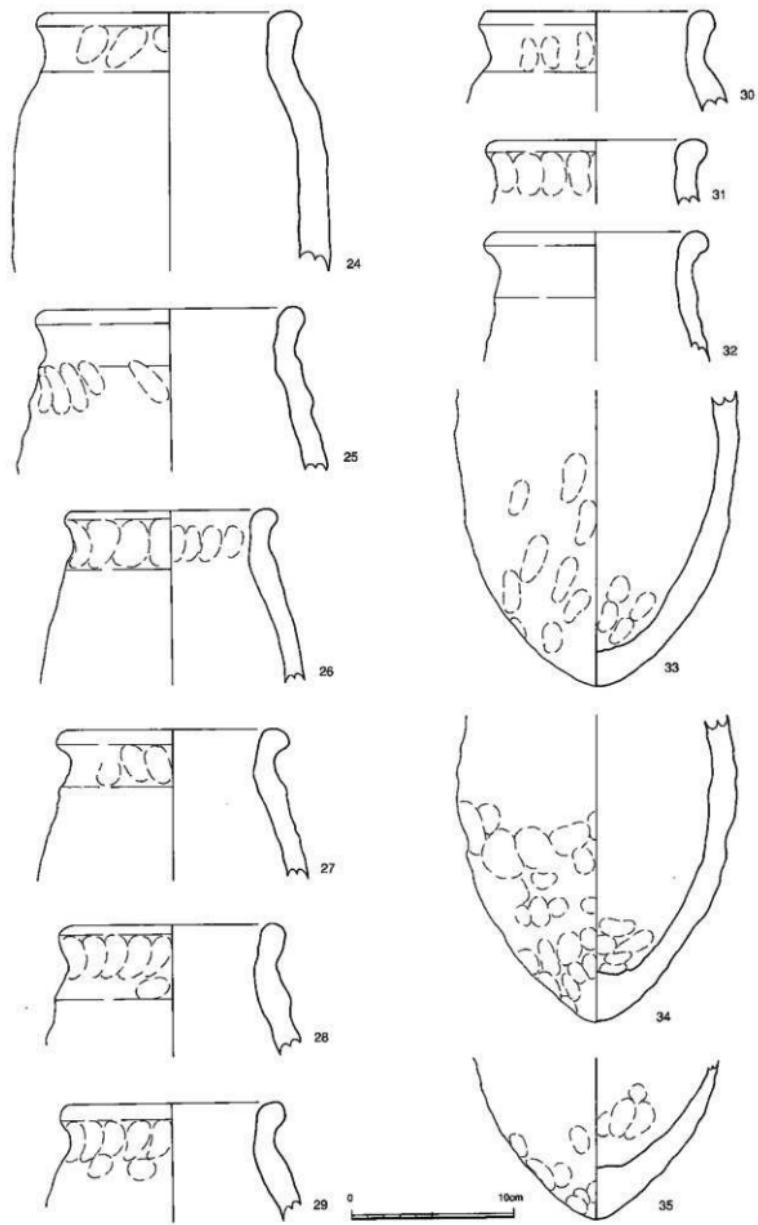
第5図 平面図・断面図



第7図 土坑1 出土遺物 (1)



第8図 土坑1 出土遺物 (2)



第9図 土坑1 出土遺物 (3)

第2節 遺構と遺物

土坑1（第5～9図）

トレンチの中央北部に位置するが、大部分がトレンチ外にかかっていたため北部に拡張し、その全容の解明に務めた。南北2.40m以上、東西2.90m以上、深さ0.15mの土坑で、埋土は濃茶灰白色土で、地山直上には炭混じりの焼土層がある。東部を土坑4、北部と東部を落ち込みに切られ、上部は大幅に削平を受けている。遺物は瓦器、土師質土器が出土した。1・2は瓦器塊、3～8は土師質小皿、9～35は土師質蛸壺である。蛸壺は口径約12cm、高さ約29cmで、粘土紐輪積みを指で整形しているため、器形には若干のバラツキがあるが、いずれも口縁部下に絞掛け用のくびれを作り出している。体部に窯印をヘラ描き後、焼成している。窯印は~~火~~と~~火~~の2種類がある。12世紀前半の蛸壺焼成土坑と思われる。

土坑2（第5・10図）

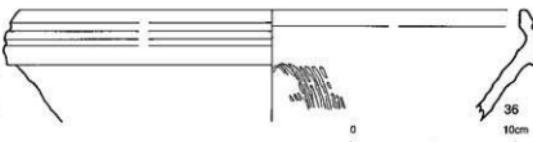
トレンチの南西部に位置する南北0.50m以上、東西1.00m以上、深さ0.40mの楕円形土坑で、埋土は暗茶色土である。土坑18に切られている。遺物は36の16世紀後半の備前の擂鉢が1点出土したのみである。

土坑3（第5・11図）

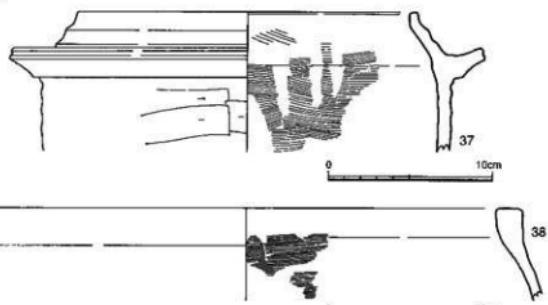
トレンチの南西部に位置する南北1.26m以上、東西0.50m以上、深さ0.48mの土坑で、埋土は茶灰色粘質土である。溝6に切られている。遺物は土師質土器が出土した。37は15世紀後半の土師質羽釜、38は16世紀後半の湊焼甕である。

土坑4（第5・12・13図）

トレンチの中央部に位置する南北1.61m以上、東西1.35m、深さ0.95mの楕円形土坑で、埋土は濃黒茶色疊混粘質土である。遺物は土師質土器、陶器、磁器、丸瓦、土師質管状土錘が出土した。39は土師質甕、40は土師質管状土錘、41・42は龍泉窯系青磁碗、43は漳州窯系青花碗、44・45は景德鎮窯系青花の碗と皿である。その他に、小片のため図示できなかったが、天目塊が2点出土した。他の遺構に比べて輸入陶磁器が多く出土したのが特徴的である。16



第10図 土坑2 出土遺物



第11図 土坑3 出土遺物

世紀後半の墓坑と思われる。

土坑5（第5図）

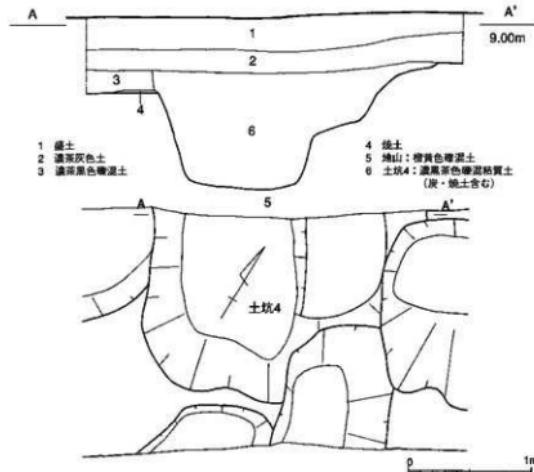
トレンチの中央北部に位置する南北2.42m以上、東西1.10m以上、深さ0.19mの不定形土坑で、埋土は濃黒茶色疊混粘質土である。土坑33に切られている。遺物は出土しなかった。

土坑6（第5図）

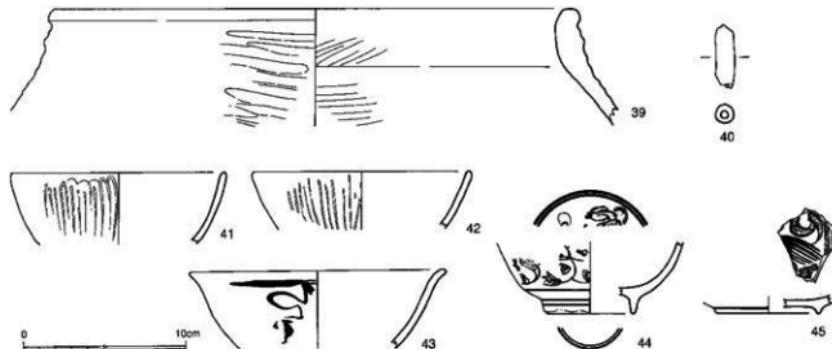
トレンチの東部に位置する南北0.75m、東西1.90m以上、深さ0.10mの土坑で、埋土は暗茶黒色粘質土である。遺物は出土しなかった。

土坑7（第5図）

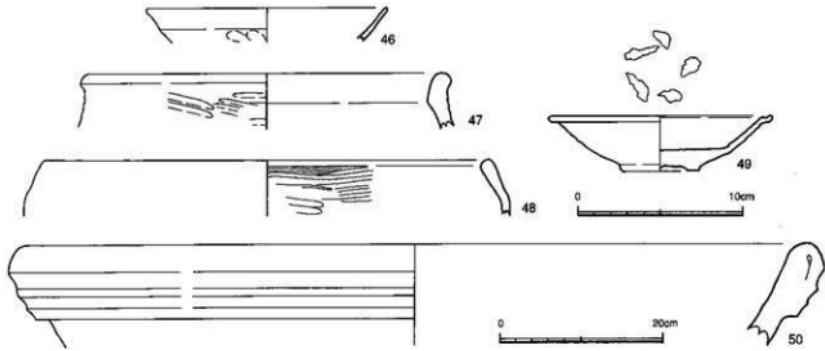
トレンチの北東部に位置する南北0.70m以上、東西0.65m、深さ0.15mの土坑で、埋土は淡黄色混りの茶黒色土である。遺物は出土しなかった。



第12図 土坑4 平面図・断面図



第13図 土坑4 出土遺物



第14図 土坑9 出土遺物

土坑9（第5・14図）

トレンチの北東部に位置する南北1.10m以上、東西3.05m以上、深さ0.29mの楕円形土坑で、埋土は暗灰茶色礫混土である。溝2を切っている。遺物は瓦器、土師質土器、陶器、磁器が出土した。46は二次焼成を受けた瓦器塊、47は瓦質甕、48は土師質炮烙、49は唐津皿、50は備前大甕である。

土坑10（第5・15図）

トレンチの南東部に位置する南北1.10m以上、東西2.50m、深さ0.38mの不定形土坑で、埋土は暗灰茶色礫混土である。遺物は土師質土器、陶器、瓦が出土した。51は唐津系の盤、52は丹波の擂鉢で、17世紀後半のものと思われる。

土坑11（第5図）

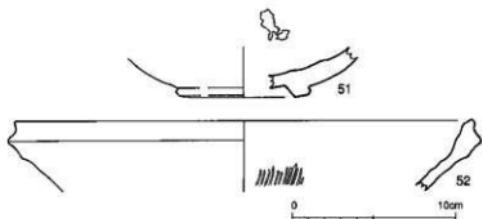
トレンチの中央部に位置する南北1.25m以上、東西0.70m、深さ0.22mの不定形土坑で、埋土は暗灰茶色礫混土である。遺物は出土しなかった。

土坑12（第5図）

トレンチの南部に位置する南北0.49m、東西0.78m、深さ0.05mの浅い楕円形土坑で、埋土は茶黒色土である。遺物は出土しなかったが、土器溜り以前の遺構と思われる。

土坑13（第5図）

トレンチの中央部に位置する南北0.80m、東西0.30m以上、深さ0.12mの不定形土坑で、埋土は上層が暗茶黒色粘質土、下層は淡褐黄色礫混土である。遺物は出土しなかった。



第15図 土坑10 出土遺物

土坑14（第5図）

トレンチの東部に位置する南北2.70m以上、東西0.58m以上、深さ0.25mの土坑で、埋土は暗茶灰色土である。遺物は出土しなかった。

土坑15（第5図）

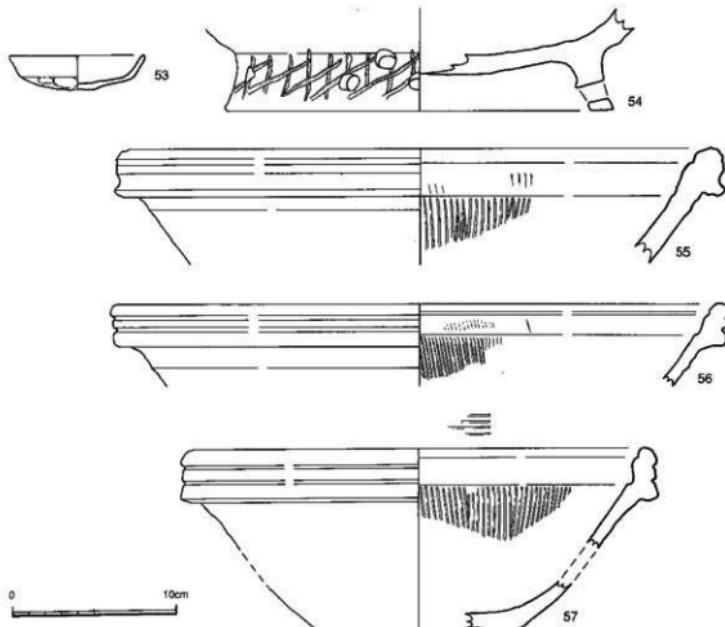
トレンチの南東部に位置する南北0.85m以上、東西1.68m、深さ0.29mの土坑で、埋土は暗茶灰色土である。遺物は出土しなかった。

土坑16（第5図）

トレンチの南東部に位置する南北1.10m、東西1.75m以上、深さ0.20mの土坑で、埋土は暗茶灰色土である。遺物は土師器が出土したが図示できなかった。

土坑17（第5図）

トレンチの中央北部に位置する南北1.30m以上、東西1.50m以上、深さ0.20mの不定形土坑で、埋土は暗茶灰色土である。土坑34に切られている。遺物は瓦が出土したが図示できなかった。



第16図 土坑20 出土遺物

土坑18（第5図）

トレンチの南西部に位置する南北1.00m以上、東西0.80m以上、深さ0.25mの楕円形土坑で、埋土は暗茶灰色土である。土坑2を切っている。遺物は景德鎮窯系白磁、瓦が出土したが図示できなかった。

土坑19（第5図）

トレンチの中央北部に位置する南北0.35m以上、東西0.86m、深さ0.07mの土坑で、埋土は茶色礫混土である。遺物は出土しなかった。

土坑20（第5・16図）

トレンチの南西部に位置する南北0.9m、東西0.70m以上、深さ0.25mの土坑で、埋土は茶黒色粘質土である。大部分を土坑41によって削平されている。遺物は須恵器、土師質土器、瓦質土器、陶器、磁器が出土した。53は土師質小皿、54は瓦質火鉢、55～57は17世紀末～18世紀前半の堺擂鉢である。

土坑21（第5図）

トレンチの南西部に位置する南北1.20m、東西1.45m、深さ0.12mの円形に近い土坑で、埋土は暗茶色礫混土である。遺物は出土しなかった。

土坑22（第5図）

トレンチの南西部に位置する南北0.57m以上、東西1.20m以上、深さ0.05mの浅い土坑で、埋土は暗茶色粘質土である。溝5を切っている。遺物は出土しなかった。

土坑23（第5図・17図）

トレンチの南西部に位置する南北1.66m以上、東西2.42m、深さ0.12mの楕円形土坑で、埋土は暗茶色粘質土である。遺物は土師質土器、瓦器、二次焼成を受けた肥前系陶器が出土した。58は瓦器塊で13世紀のものである。

土坑24（第5図）

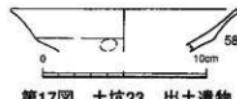
トレンチの南西部に位置する南北0.50m以上、東西1.00m以上、深さ0.05mの浅い土坑で、埋土は暗茶色粘質土である。遺物は出土しなかった。

土坑25（第5図・18図）

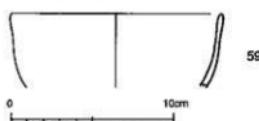
トレンチの北西部に位置する南北2.10m以上、東西3.10m以上、深さ0.58mの不定形土坑で、埋土は茶黒色粘質土である。遺物は土師質土器、陶器、瓦、貝殻が出土した。59は肥前系の堺である。

土坑26（第5図）

トレンチの北西部に位置する南北0.52m以上、東西0.68m、深さ0.18mの土坑で、埋土は茶黒色粘質土である。遺物は出土しなかった。



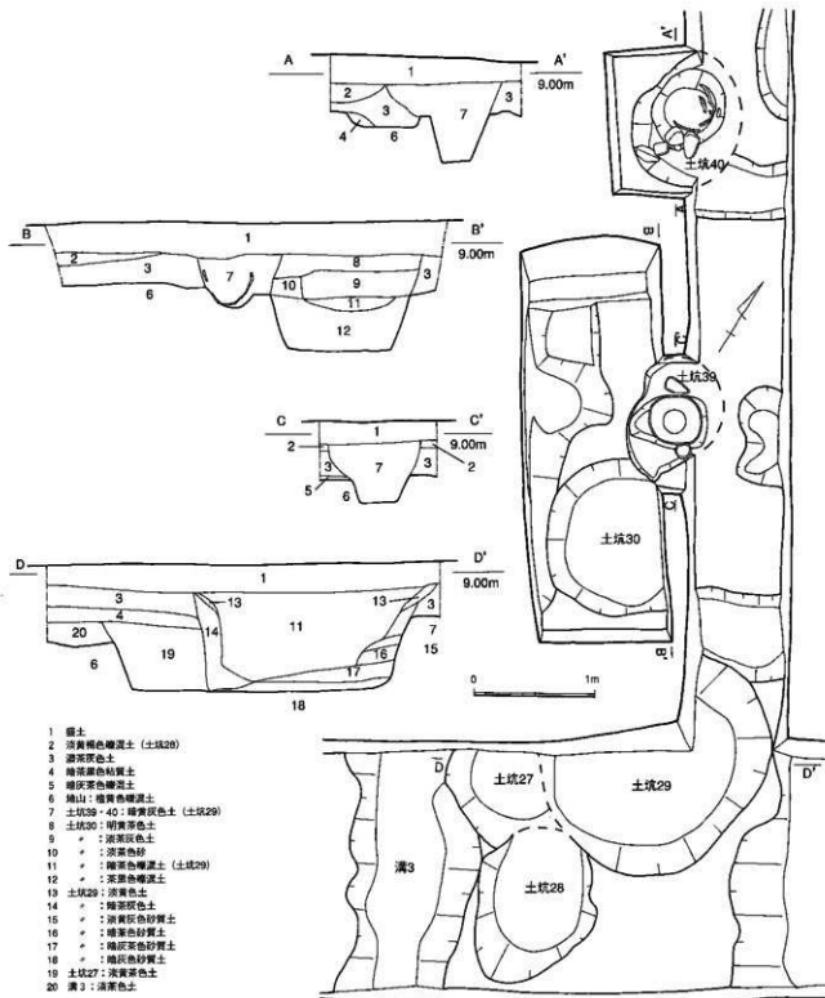
第17図 土坑23 出土遺物



第18図 土坑25 出土遺物

土坑27（第5・19・20図）

トレーナーの中央南部に位置する直径0.85m以上、深さ0.53mの桶棺埋葬用墓坑と思われる円形土坑で、埋土は淡黄茶色土である。土坑28、土坑29に切られている。遺物は土師質土器、瓦器、瓦質土器、陶器、磁器、瓦が出土した。60・61は17世紀前半の同一個体と思われる唐津播鉢である。



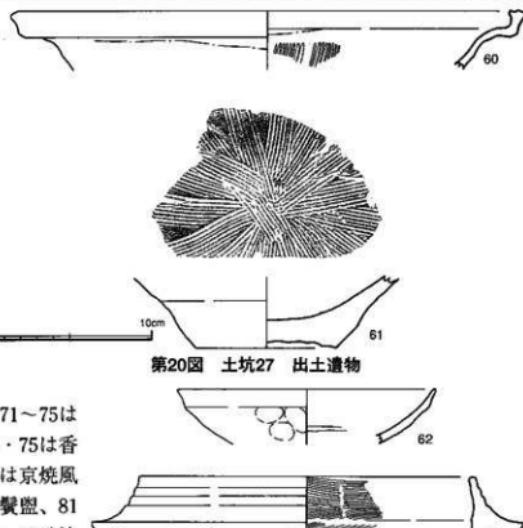
第19図 土坑27・28・29・30・39・40 平面図・断面図

土坑28（第5・19・21図）

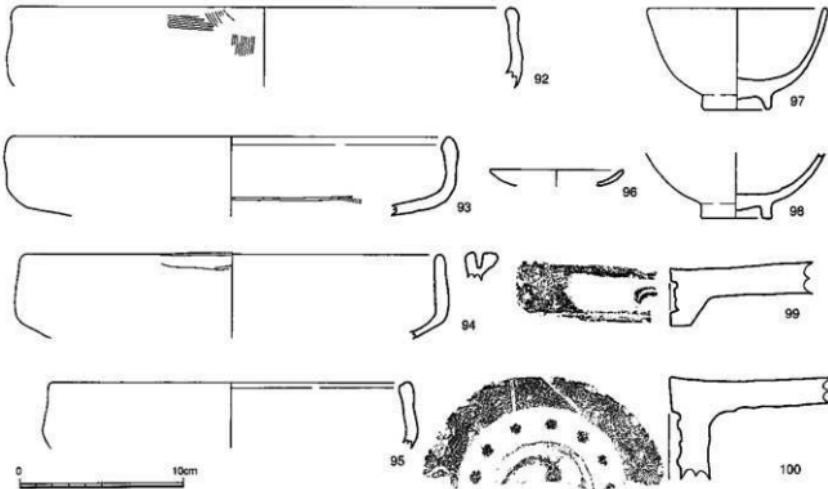
トレンチの中央南部に位置する南北1.30m、東西1.00m、深さ0.50mの18世紀の桶棺埋葬用墓坑と思われる楕円形土坑で、埋土は淡黄褐色礫混土である。土坑27を切り、土坑29に切られている。遺物は土師質土器、瓦器、瓦質土器、陶器、瓦が出土した。62は瓦器塊、63は瓦質羽釜である。

土坑29（第5・19・22図）

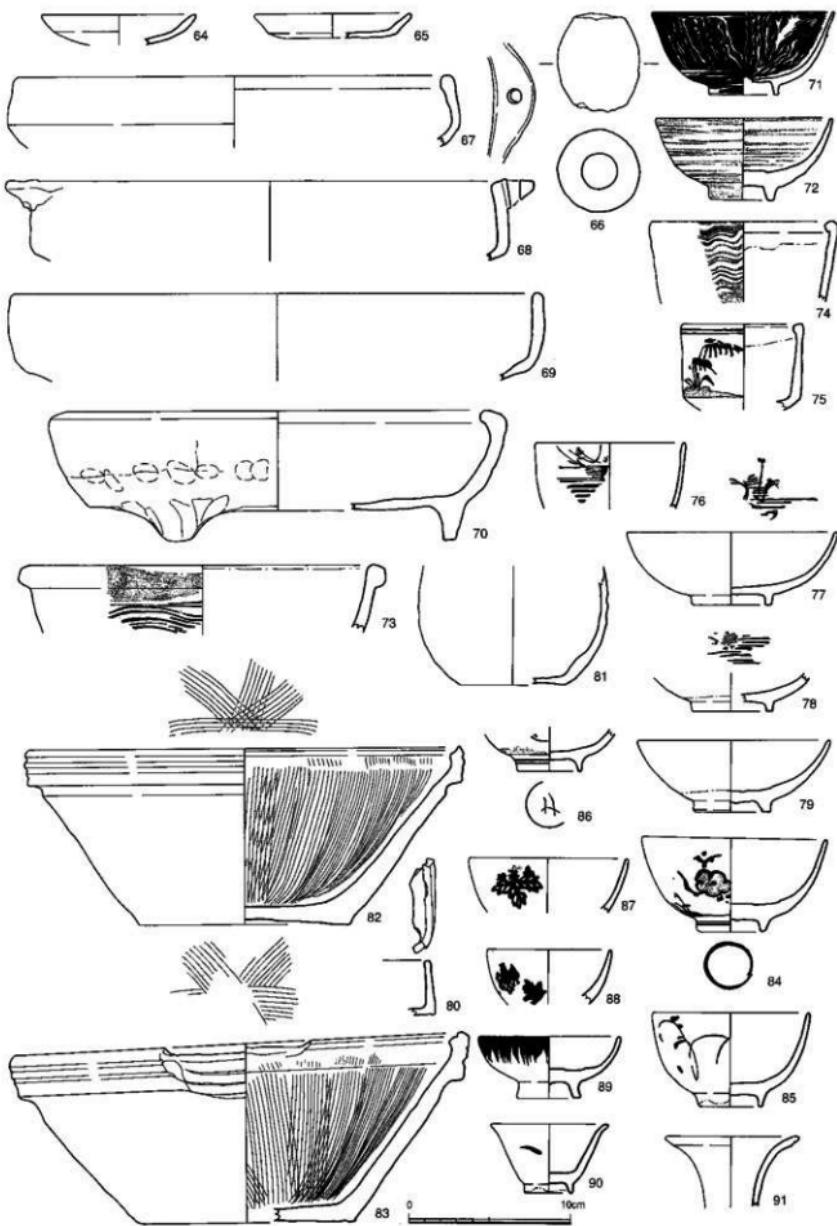
トレンチの中央部に位置する直径1.71m以上、深さ0.82mの桶棺埋葬用墓坑と思われる円形土坑である。遺物は土師質土器、陶器、磁器、瓦、土師質管状土錘が出土した。64～70は土師質土器で、64、65は小皿、66は大型の管状土錘、67～69は炮烙で、68は有孔の把手がついている。70は火鉢である。71～91は陶磁器である。71～75は唐津で、71・72は塊、73は鉢、74・75は香炉で71は現川窯系である。76～78は京焼風の塊、79・80は肥前系陶器の塊と贊盟、81は伊部徳利、82・83は堺播鉢、84～90は波佐見で、84～87は碗、88～90は猪口、91は磁器の瓶である。18世紀の遺構である。



第21図 土坑28 出土遺物



第23図 土坑30 出土遺物



第22図 土坑29 出土遺物

土坑30（第5・19・23図）

トレンチの中央部に位置する直径1.30m以上、深さ0.10mの土坑29と同様に桶棺埋葬用墓坑と思われる円形土坑である。遺物は瓦器、土師質土器、陶器、磁器、瓦が出土した。92～95は土師質炮烙、96は土師質小皿、97・98は肥前系塙で、99・100は軒瓦である。その他に小片で図示できなかったが、15世紀龍泉窯系の青磁碗が1点出土した。

土坑31（第5・24図）

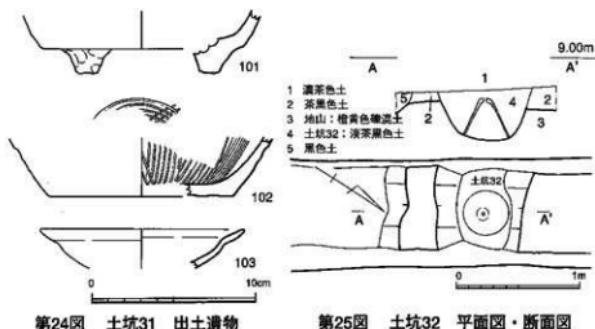
トレンチの中央部に位置する南北1.13m以上、東西1.70m、深さ0.18mの土坑で、埋土は濃茶灰白色土である。溝2を切っている。遺物は土師質土器、陶器、磁器、瓦質土器、瓦が出土した。101は瓦質香炉、102は信楽系の擂鉢、103は波佐見の青磁皿である。

土坑32（第5・25・26図）

トレンチの中央部に位置する南北0.70m、東西0.65m以上、深さ0.30mの土坑で、埋土は淡茶黒色土である。遺物は104の土師質の製糖用漏斗が1点出土したのみである。18～19世紀のものである。これは板状粘土3枚による成型で、調整は外面が離れ砂付着、内面は丁寧な横ナデで、底部に直径約2cmの穿孔がある。土坑内に伏せた状態で出土しているため、藏骨器に転用したものと思われる。

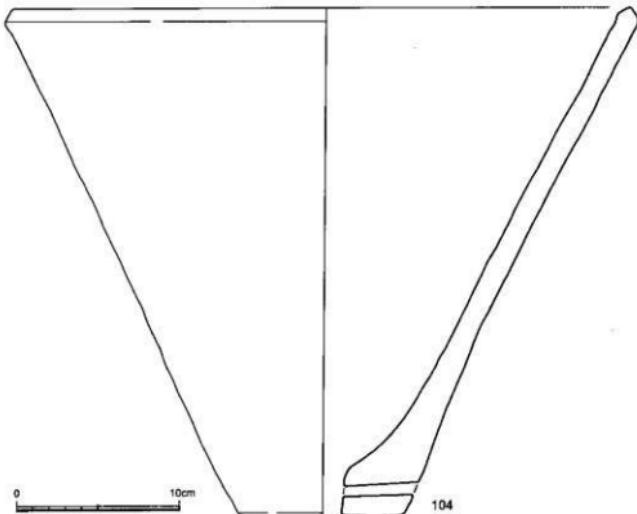
土坑33（第5・27図）

トレンチの中央北部に位置する南北1.00m以上、東西0.92m、深さ0.35mの楕円形土坑で、埋土は茶黄色土である。土坑4・5を切り、土坑34に切られている。遺物は須恵器、土師質

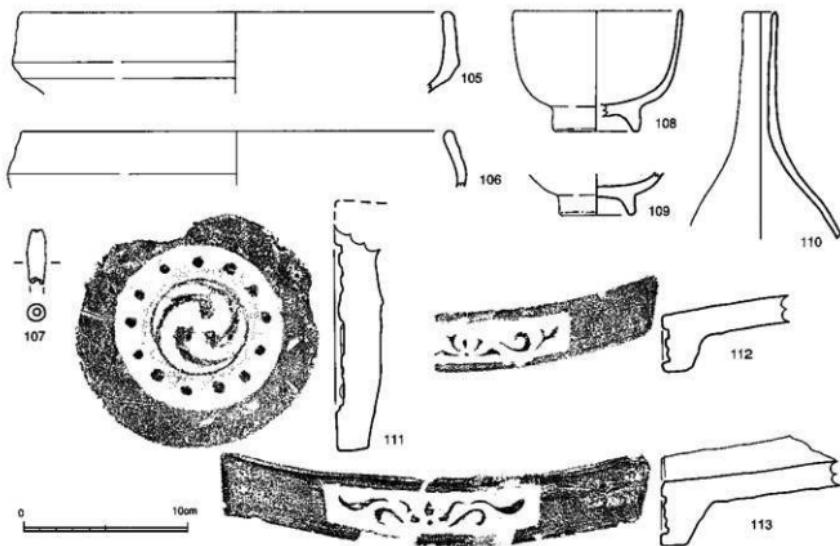


第24図 土坑31 出土遺物

第25図 土坑32 平面図・断面図



第26図 土坑32 出土遺物



第27図 土坑33 出土遺物

土器、瓦質土器、陶器、磁器、蜻壺、鉱滓、焼土塊と大量の瓦が出土した。105・106は土師質炮烙、107は土師質管状土錘、108・109は肥前系の京焼風塊、110は波佐見青磁花瓶、111～113は軒瓦である。

土坑34（第5・28・29図）

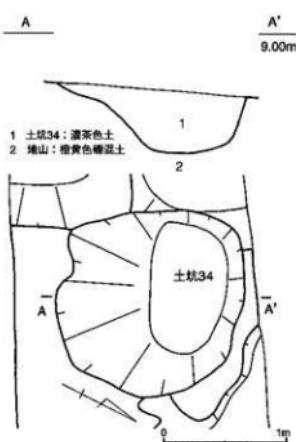
トレンチの中央北部に位置する直径1.54m、深さ0.57mの円形土坑で、埋土は濃茶色土である。土坑4、17、33を切っている。遺物は陶器、磁器、砥石、蜻壺、瓦が出土した。114は唐津二彩大皿、115は京焼風塊、116は砥石である。18世紀の遺構と思われる。

土坑35（第5図）

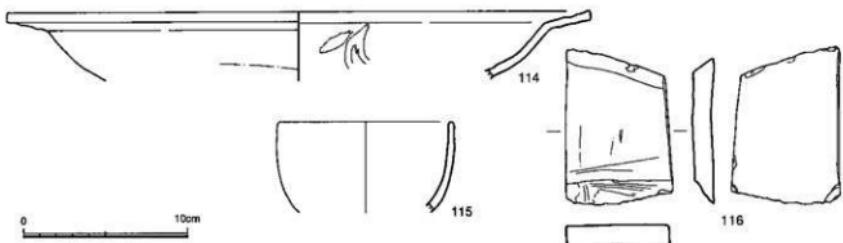
トレンチの北西部に位置する直径1.73m、深さ0.24mの円形土坑で、埋土は濃茶色土である。遺物は土師質土器、二次焼成を受けた瓦が出土したが図示できなかった。

土坑36（第5図）

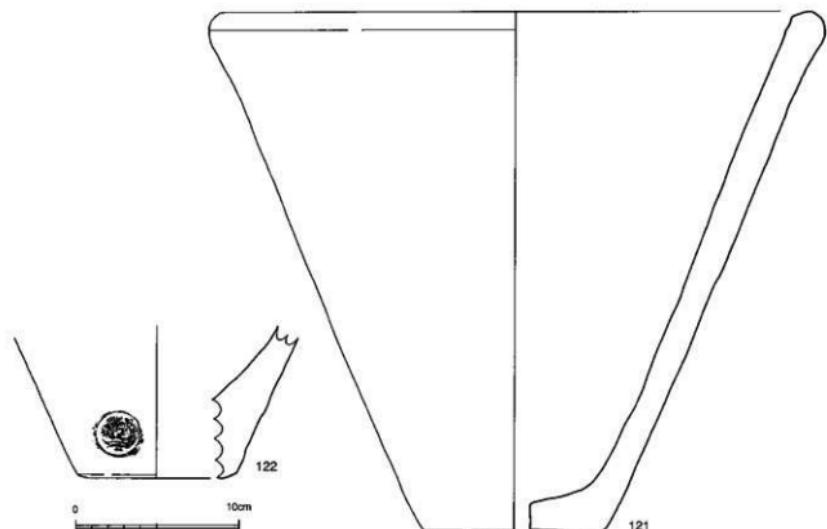
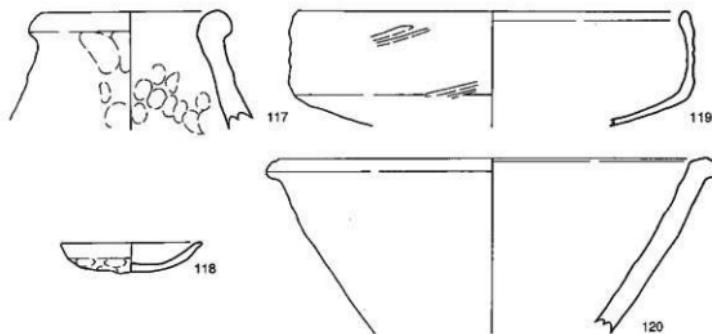
トレンチの北西部に位置する南北0.32m以上、東西0.67m、深さ0.32mの土坑で、埋土は濃茶色礫土である。遺物は出土しなかった。



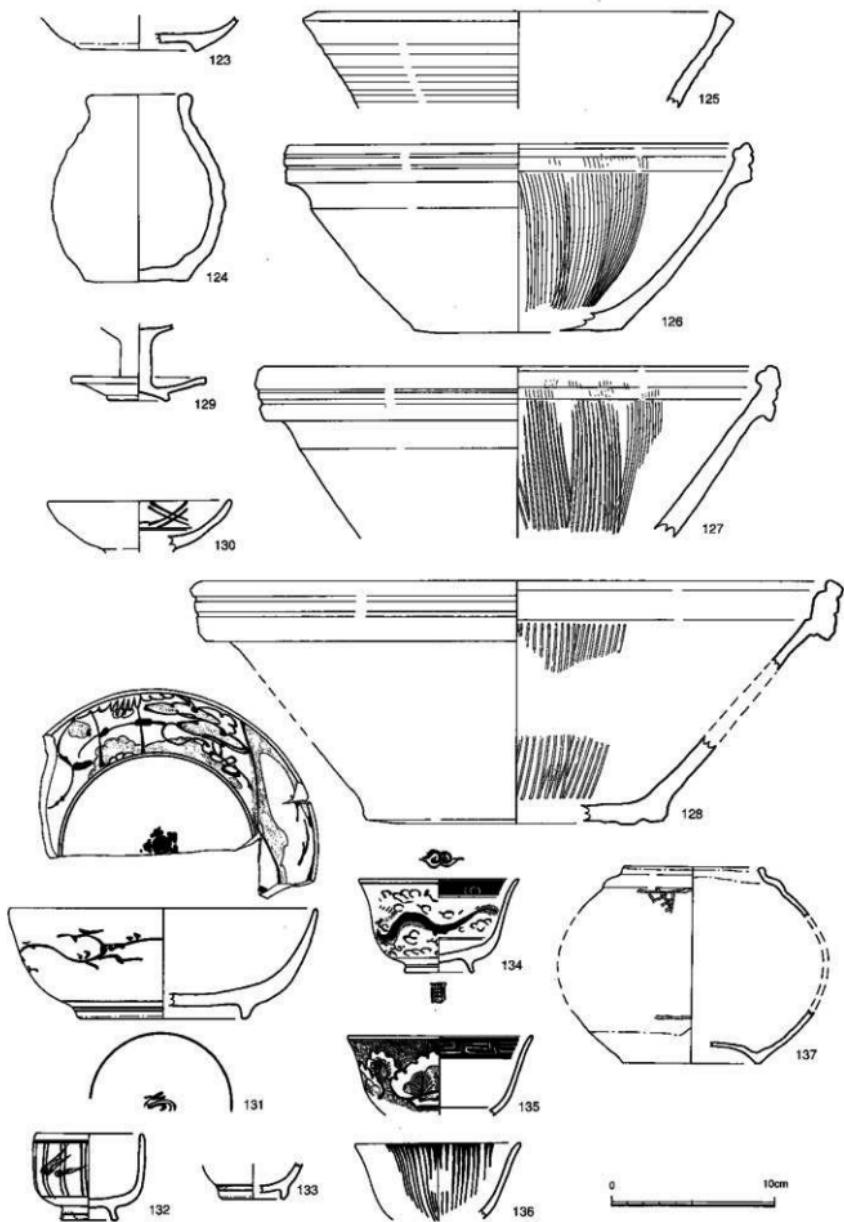
第28図 土坑34 平面図・断面図



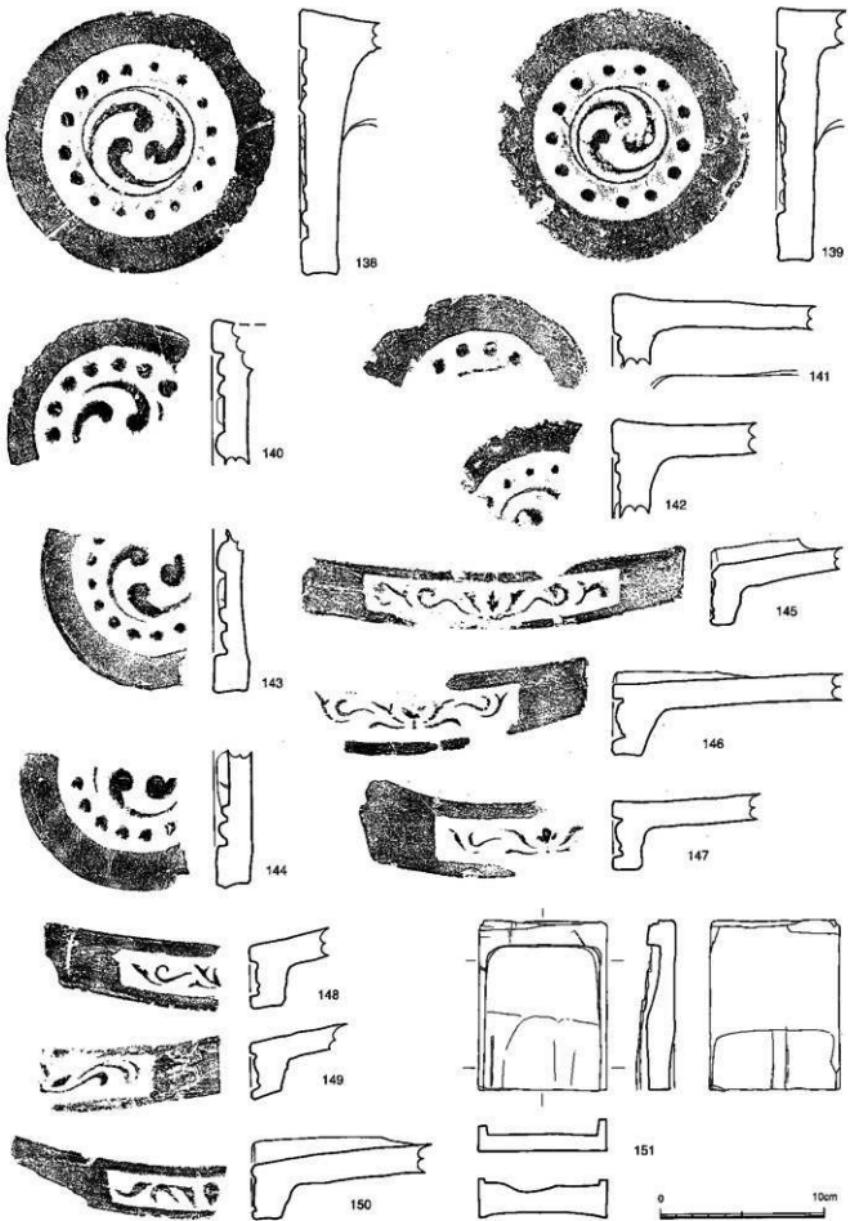
第29図 土坑34 出土遺物



第30図 土坑38 出土遺物 (1)



第31図 土坑38 出土遺物 (2)



第32図 土坑38 出土遺物 (3)

土坑37（第5図）

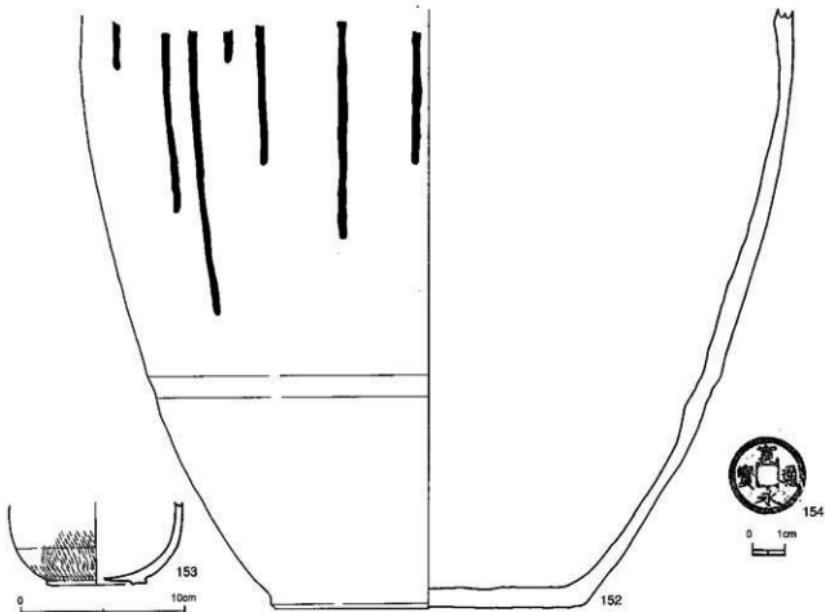
トレントの北東部に位置する南北0.70m以上、東西1.40m、深さ0.46mの楕円形土坑で、埋土は淡褐色土である。遺物は出土しなかった。

土坑38（第5・30～32図）

トレントの北東部に位置する南北0.70m以上、東西1.20m、深さ0.34mの楕円形土坑で、埋土は淡黄色土で大きな礫を含む。遺物は土師質土器、蛸壺、陶器、磁器、硯、瓦、貝、石臼が出土した。117～122は土師質土器で、117は蛸壺、118は小皿、119は炮烙、120～122は製糖用の漏斗で、120は他の個体より作りが粗く、122は体下部に刻印がある。123は16世紀末期～17世紀初頭の景德鎮窯系白磁皿。124は備前お歯黒壺で内部に鉄分が残る。125は備前鉢、126～128は堺擂鉢、129は肥前系陶器の灯明皿、130～133は波佐見で、130・131は皿、132は猪口、133は瓶、134～136は瀬戸の磁器碗、137は伊賀・信楽系の土瓶、138～144は巴文軒丸瓦、145～150は均整唐草文軒平瓦、151は石製硯である。19世紀の遺構である。

土坑39（第5・19・33図）

トレントの中央部に位置する南北1.00m以上、東西0.70m以上、深さ0.50m以上の楕円形の墓坑で、埋土は暗黄灰色土である。第1層盛土で整地されている。土坑30を切っている。遺物は土師質土器、蛸壺、陶器、瓦が出土した。152は信楽の甕で蔵骨器として使われていた。内部より153の信楽系壠と154の寛永通宝などが出土した。19世紀のものである。



第33図 土坑39 出土遺物

土坑40（第5・19・34図）

トレンチの中央部に位置する南北1.20m以上、東西0.70m以上、深さ0.64mの梢円形の墓坑で、埋土は暗黄灰色土である。土坑39と同様に第1層盛土で整地されている。遺物は土師質土器、陶器、磁器、瓦が出土した。155は丹波の甕で藏骨器として使われていた。内部より156の伊賀・信楽系の鍋と157の波佐見碗などが出土した。19世紀のものである。

土坑41（第5・35図）

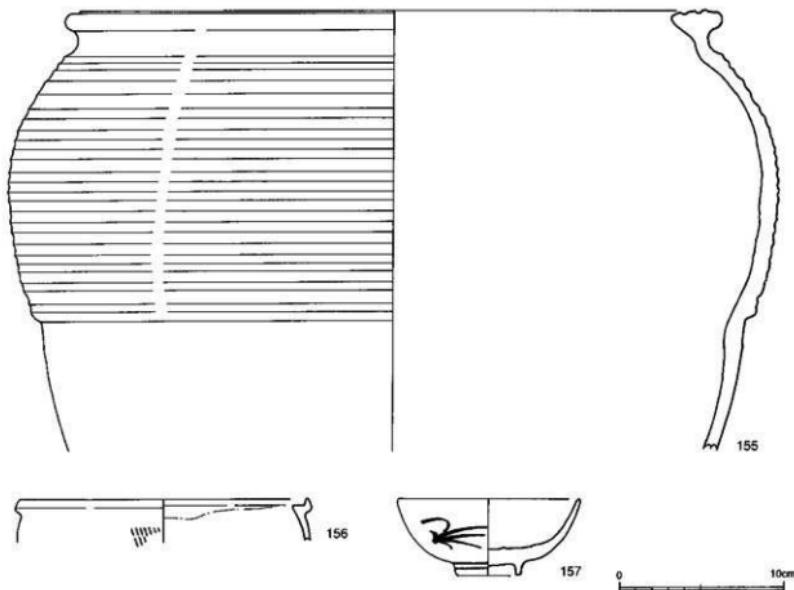
トレンチの中央部に位置する南北0.68m以上、東西0.43m以上、深さ0.23mの土坑で、埋土は淡茶色粘質土である。遺物は土師質土器、陶器、磁器、瓦、砥石、貝殻が出土した。158・159は肥前系の堀蓋と堀、160～166は伊賀・信楽系陶器、167～173は瀬戸系の磁器、174は肥前系磁器の色絵段重、175～177は軒瓦である。

土坑42（第5図）

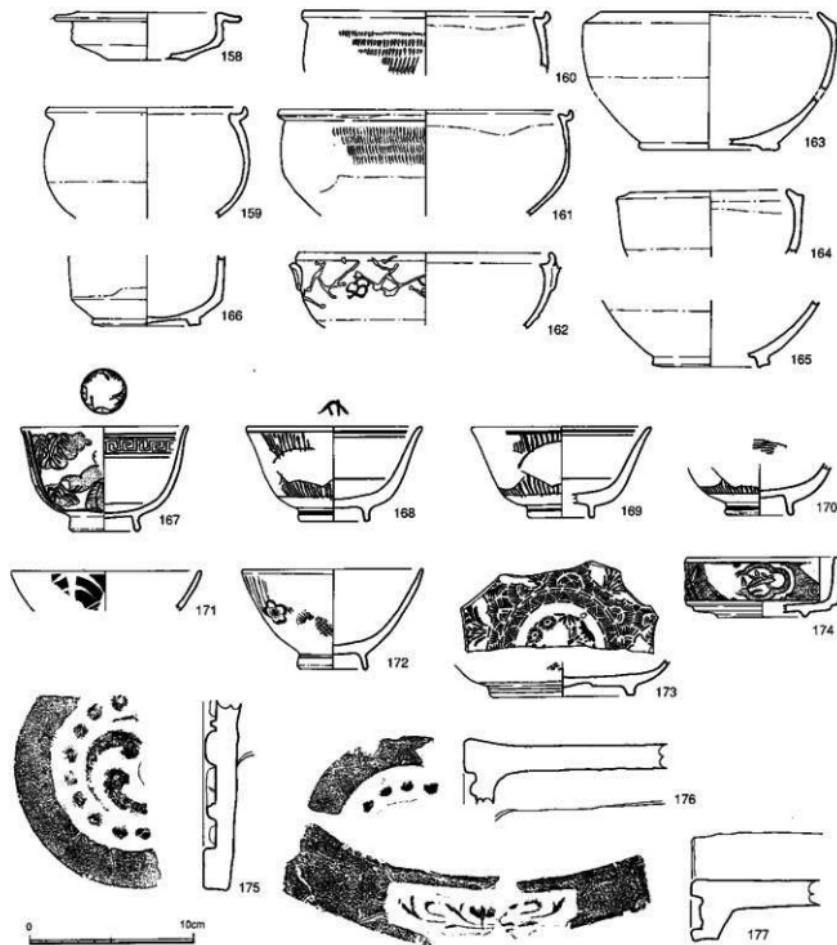
トレンチの北東部に位置する南北0.70m以上、東西1.10m、深さ0.29mの土坑で、倒木痕の可能性が考えられる。埋土は黒色土で、遺物は出土しなかった。

土坑43（第5図）

トレンチの中央部に位置する南北1.53m、東西0.67m以上、深さ0.14mの土坑で、倒木痕の可能性が考えられる。埋土は黒色土で、遺物は出土しなかった。



第34図 土坑40 出土遺物



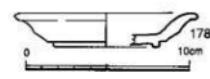
第35図 土坑41 出土遺物

溝1（第5図・36図）

トレーナー北東部に位置する東西方向の溝で、東に向かって流れているものと思われる。埋土は明茶色土である。遺物は土師質土器、陶器が出土した。178は16世紀前半の瀬戸美濃皿である。

溝2（第5図）

溝1の南側に位置する東西方向の溝で、東に向かって流れているものと思われる。埋土は



第36図 溝1 出土遺物

黒色粘質土である。遺物は出土しなかったが、土坑9に切られていることから17世紀前半以前のものと思われる。

溝3（第5図）

トレンチ中央部に位置する南北方向の溝で、北に向かって流れているものと思われる。溝4と並行し、埋土は淡茶色土である。遺物は土師質、陶器、土師質管状土錐が出土したが図化できなかった。

溝4（第5図）

トレンチ中央部に位置する南北方向の溝で、北に向かって流れているものと思われる。溝3と並行し、埋土は淡茶色土である。遺物は土師質土器が出土したが図化できなかった。

溝5（第5・37図）

トレンチ内を東西に流れる溝で西側で南部に折れる。溝6より古いと思われる。長さ33.6m以上、幅0.60~2.24m、深さ0.09~0.30mである。東から西へ流れ、標高差は約26mである。埋土は暗茶黒色粘質土である。遺物は土師質土器、陶器、磁器、瓦が出土した。179は刷毛目唐津の塊で、17世紀末~18世紀前半のものと思われる。

溝6（第5・38図）

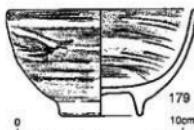
トレンチ内を東西に流れる溝で、長さ30.0m以上、幅0.42~1.41m、深さ0.07~0.63mである。溝底部の標高差は約23cmで、東へ向かって流れているものと思われる。埋土は暗茶色粘質土である。遺物は西側に集中しており、東側からは出土していない。須恵器、土師質土器、土師質鉢壺、陶器、磁器、瓦が出土した。180は波佐見の碗で、18世紀のものと思われる。

ピット群（第5図）

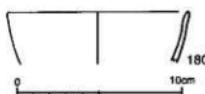
28個のピットが検出された。その内、3カ所のピットから遺物が出土した。ピット1はトレンチの北東部に位置し、直径0.42m、深さ0.18mで、埋土は淡茶灰色土である。遺物は土師質甕、濁焼が出土したが図化できなかった。ピット2はトレンチの中央部に位置し、直径0.35m、深さ0.25mで、埋土は暗茶黒色土である。遺物は焼土塊が出土した。ピット3はトレンチの北西部に位置し、直径0.50m、深さ0.22mで、埋土は黒茶色粘質土である。焼壁が出土した。

落ち込み（第5・39図）

トレンチの北部に位置する。土坑1を切っており、溝3、溝4、土坑19、31、35などに切られている。埋土は上層が濃茶色土、下層が茶黒色土である。遺物は須恵器、漳州窯系青花碗、景德鎮窯系白磁皿、絵唐津、瀬戸皿、伊万里皿、陶器、磁器、土師質土器、瓦器、焼土、釘、瓦が出土した。181は土師質小皿で、182は青磁瓶、183は絵唐津の鉢、184は京焼風塊、185は唐津系綠釉塊である。



第37図 溝5 出土遺物



第38図 溝6 出土遺物



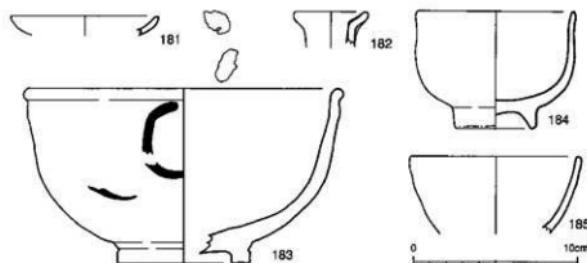
第40図 土器窯り 出土遺物

土器溜り（第5・40図）

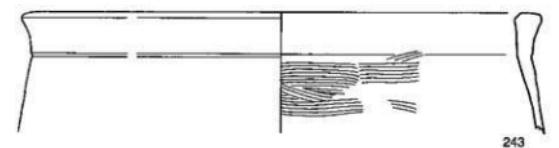
トレンチの南部に位置し、東西2.00m以上、南北8.20m、深さ0.28mを呈する。埋土は上層が暗灰黒色土、下層が暗茶黒色礫混土で2時期にわたって埋められたものと思われる。瓦質土器、土師質土器、蛸壺、陶器、磁器、瓦が出土した。186～191は土師質土器で、187・188は炮烙、189・190は火鉢、191は漏斗、192～194は陶器で、192は丹波播鉢、193は堺播鉢、194は肥前系片口鉢である。195～201は磁器で、195は初期伊万里の皿、196は伊万里の山水文の皿、197は波佐見碗、198～201は瀬戸焼で198は龍文碗の蓋、199・200は碗、201はうがい碗である。202～209は瓦で、202～204は巴文軒丸瓦、205～209は均整唐草文軒半瓦である。

包含層出土遺物（第41～44図）

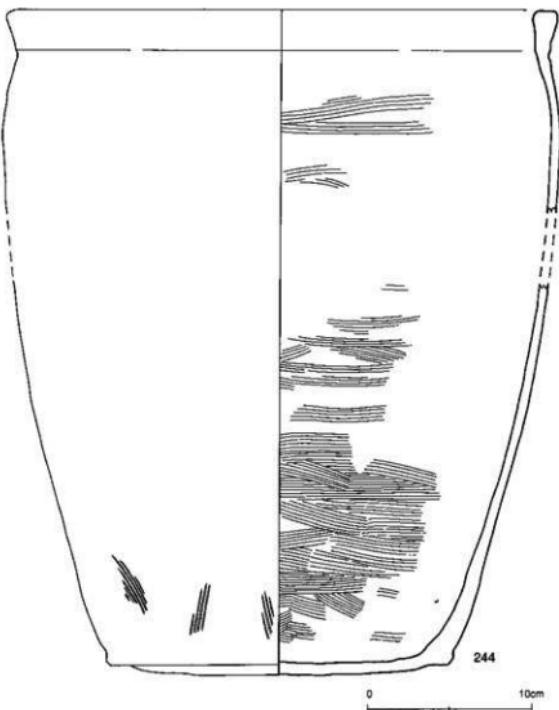
210～221は暗茶色粘質土層から出土した。210は室町時代の蓮華文軒丸瓦、211は瓦質播鉢、212は土師質羽釜、213・214は16世紀の備前播鉢、215～217は湊焼甕、218～221は土師質管状土錐、222は龍泉窯系青磁碗、223は景德鎮窯系青花皿、224・225は瀬戸美濃皿、226～230は唐津系で226・227は壺、228は盤、229は鉢、230



第39図 落ち込み 出土遺物

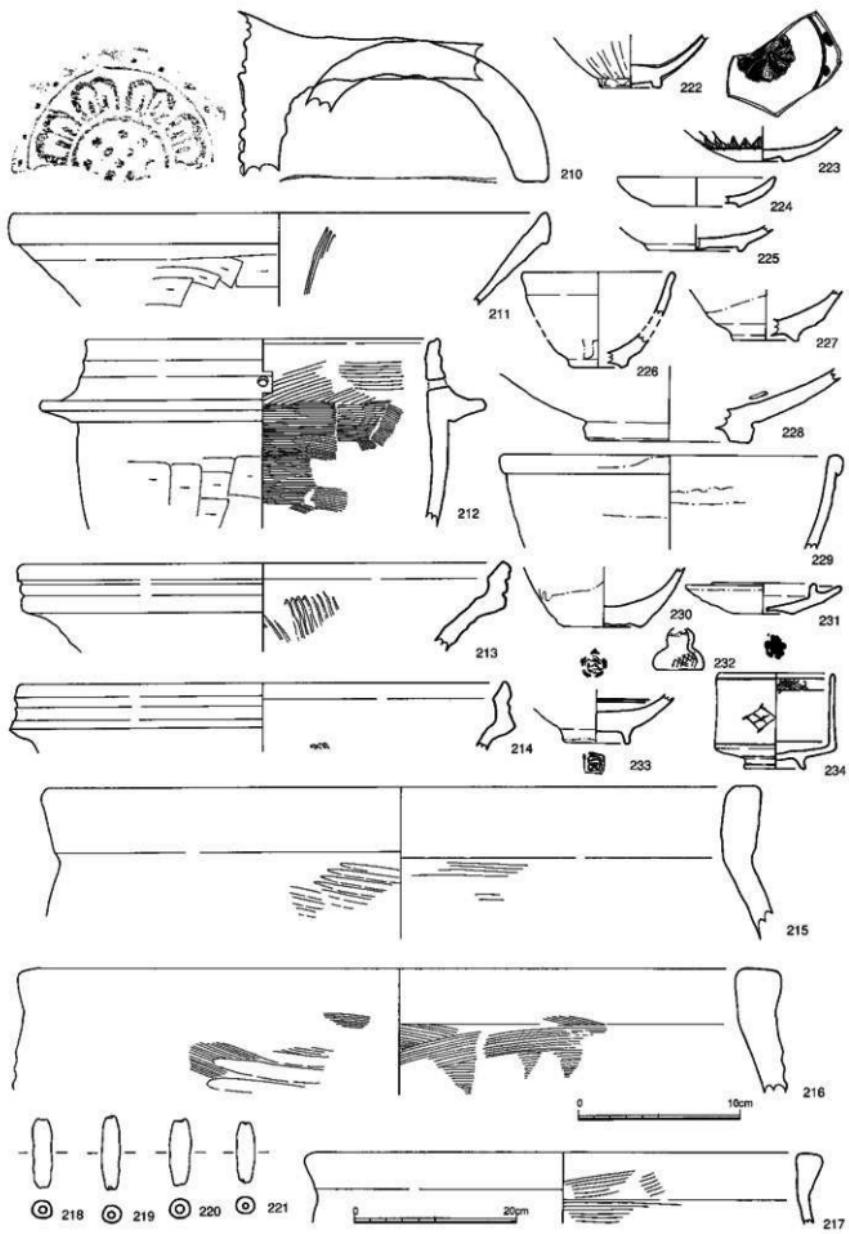


243

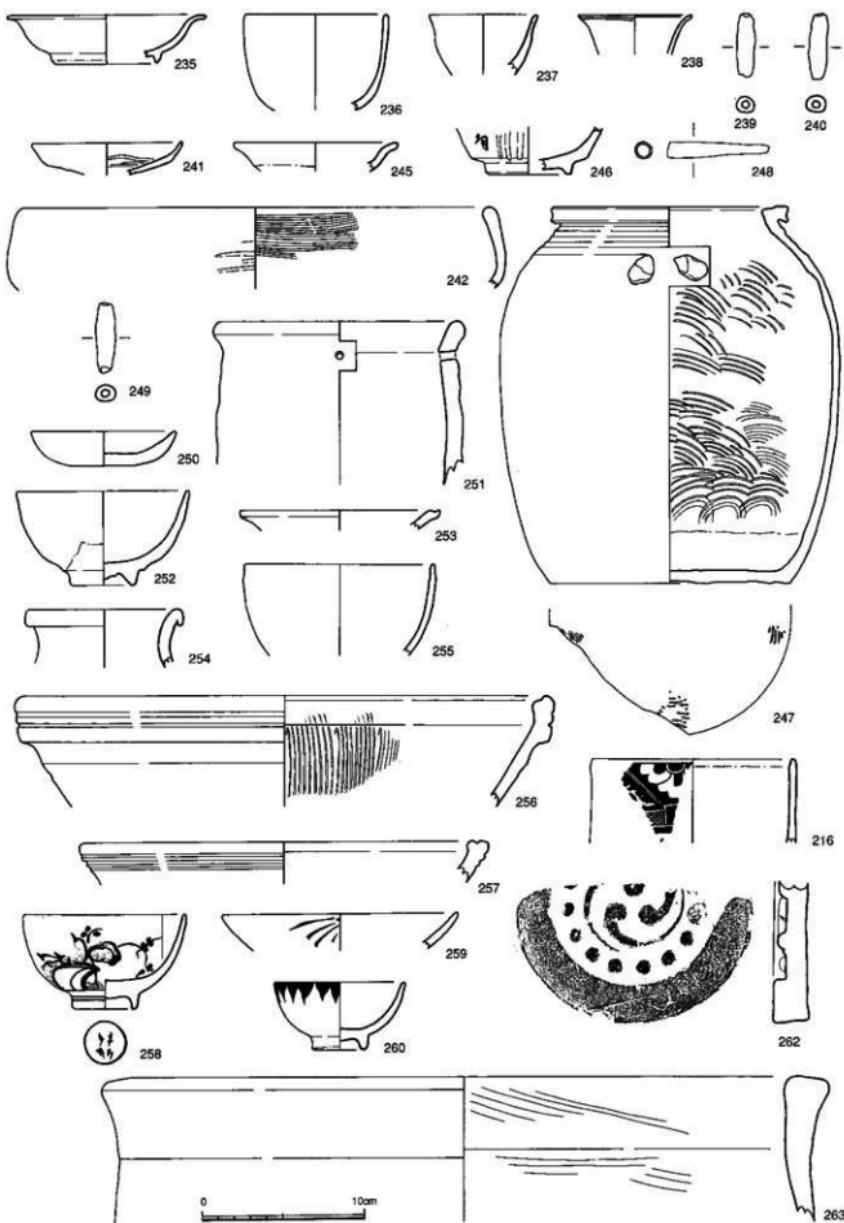


244

第43図 包含層 出土遺物 (3)



第41図 包含層 出土遺物 (1)



第42図 包含層 出土遺物 (2)

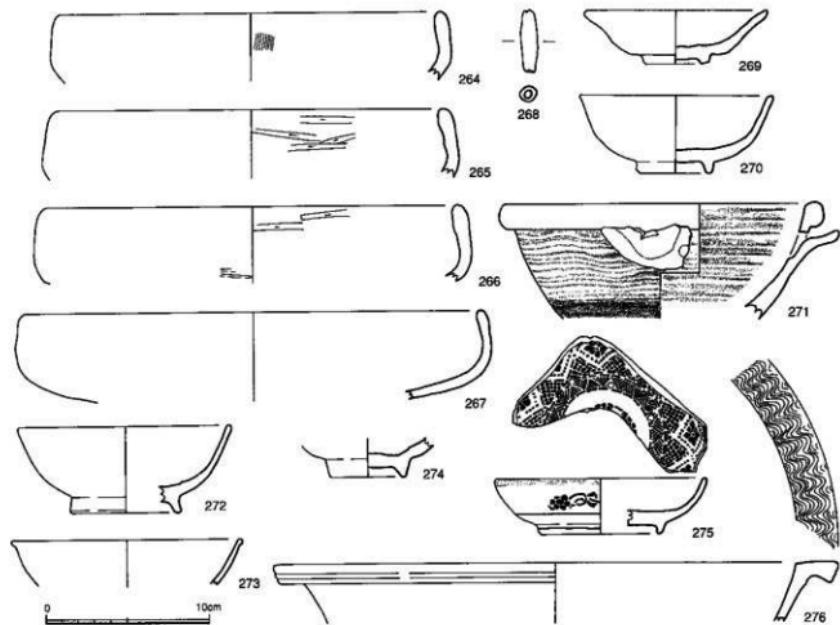
は壺である。231・232は肥前系陶器で、231は灯明皿、232は水滴、233は波佐見青磁碗、234は波佐見の筒型碗である。

235～239は茶黒色土層から出土した。235は景德鎮窯系の白磁皿、236は肥前系塊、237・238は磁器の猪口、239は土師質管状土錐である。

240～248は暗茶灰色土層から出土した。240～242は土師質で、240は管状土錐、241は小皿、242は炮烙、243・244は湊焼甕、245は唐津皿、246は伊万里の碗、247は李朝の褐釉四耳壺、248は銅製のキセル吸口である。

249～262は濃茶灰色土から出土した。249～251は土師質で、249は管状土錐、250は小皿、251は火鉢、252～254は唐津焼で、252は塊、253は溝縁皿、254は壺、255は京焼風塊、256・257は堺焼で、播鉢と鉢、258～260は波佐見焼で、258は碗、259は皿、260は猪口、261は瀬戸の染付段重、262は巴文軒丸瓦である。

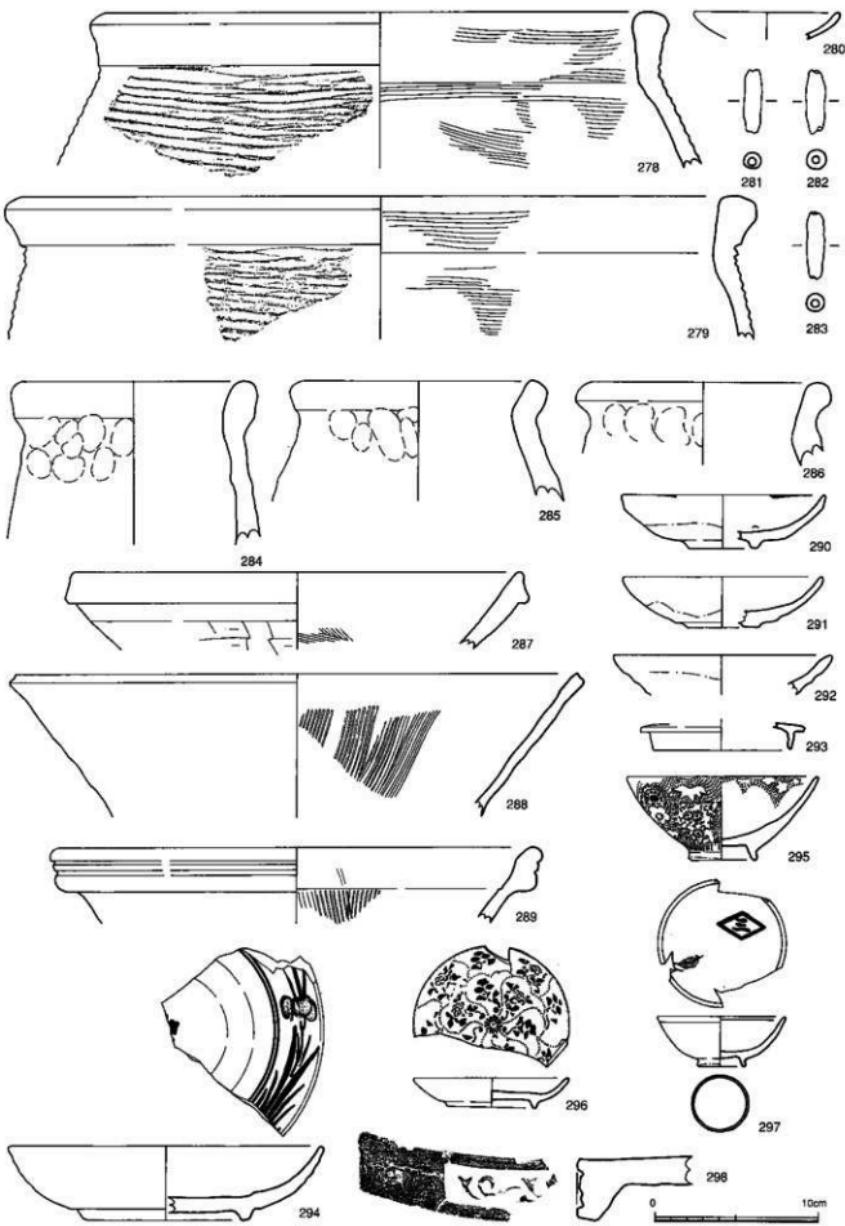
263～274は濃茶灰色土から出土した。263～268は土師質で、263は湊焼の甕、264～267は炮烙



第44図 包含層 出土遺物 (4)



第45図 一括遺物 (1)



第46図 一括遺物 (2)

で、267は施釉上師質である。268は土師質管状土錘。269～274は陶器で、269～271は唐津焼で、269は皿、270は塊、271は片口鉢、272～274は肥前系塊である。

275・276は暗灰茶色粘質土から出土した。275は瀬戸の型紙摺りの磁器皿、276は備前焼の鉢である。

277～298は調査区一括遺物である。(第45・46図) 277～279は湊焼壺、280～286は土師質で、280は小皿、281～283は管状土錘、284～286は蛸壺、287は瓦質摺鉢、288は丹波摺鉢、289は堺摺鉢、290～292は唐津皿、293は唐津系縁糀の土瓶の蓋、294は波佐見の皿、295～297は瀬戸の染付磁器、298は均整唐草文軒平瓦である。

第4章 考察

今回の調査では、中・近世期について大きな成果を得た。

中世期では、12世紀前半の蛸壺焼成土坑（土坑1）を発見した。本市では田山遺跡、田山東遺跡について3例目である。近隣市では泉南市の新伝寺遺跡、戎畠遺跡、樽井南遺跡、泉佐野市の湊遺跡、上町東遺跡で出土している。

今回検出した蛸壺焼成土坑の蛸壺のヘラ記号は▲と▼の2種類のみであり、その形態や調整などに差がないことから、業としての窯よりも小規模で短期間に営まれた何方かといえば個人的なものと考えられる。

その後、4世紀ほどの空白期間があり、16世紀後半～19世紀前半の遺構が検出できた。土坑4はその形態から墓坑と思われ、輸入陶磁器や天目茶壺など特殊な遺物が出土している。また、土坑27・28・29・34は桶棺埋葬用土坑で18世紀のものと思われる。19世紀になると土坑39・40など、陶磁器の藏骨器を用いるようになることがわかる。

また、第2章でも述べたように、調査地周辺には瓦の出土地が多く、隣接して大願寺、南西約10mに下出濱堂薬師の伝承地がある。今回の調査でも岸和田高校所蔵瓦や89-1区出土瓦と同范の瓦（210）が暗茶色粘質土層より出土し、他にも近世期の瓦が多量に出土していることや、墓地が検出されていることなど、いずれかの寺院に深く関わっていたものと思われる。

他に特徴的な遺物として土師質土器の漏斗が掲げられる。これは精糖に使用されたもので、土坑32からは完形品が伏せた形で出土した。骨壺への転用と考えられる。土器の形態は2種類あり、作りが粗く、器壁が薄手で口縁端部が外反するものと（120）、厚くて上外方に伸びるもの（121他）がある。その他に体下部に刻印があるもの（122）や墨書（191）のあるものがある。今回の調査では7個体の底部が出土した。土師質土器の漏斗は阪南市貝掛遺跡、尾崎海岸遺跡、平野寺（長樂寺）跡や泉南市男里遺跡で出土している。泉南市樽井の『毛附高仕訳覚』の1802（享和2）年の記述では、「一高式拾弐石六斗四合畠方内拾八石八斗三合甘蔗仕付高」とあることから、本市周辺の製糖業は、それをさかのばるところから始まったと思われる。

参考文献

- 『田山遺跡 淡輪・箱作海岸地区海岸環境整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』大阪文化財センター 1983年
- 『古代史博物館秋期歴史講座第3回目 たこつぼをつくった村』泉南市教育委員会 1997年
- 『阪南市埋蔵文化財発掘調査概要V』阪南市埋蔵文化財報告X 阪南教育委員会 1990年
- 『農民生活史辞典』柏書房 1991年
- 『貝掛遺跡発掘調査報告書』(財)大阪府埋蔵文化財協会調査報告書 第19輯 財団法人大阪府埋蔵文化財協会 1988年
- 『阪南市埋蔵文化財発掘調査概要 XI』阪南市埋蔵文化財報告 XXI 阪南市教育委員会 1996年
- 『泉南市遺跡群発掘調査報告書 XV』泉南市文化財調査報告書第31集 泉南市教育委員会 1998年

遺物観察表

押送番号 遺物番号	出土地点 順位	種類 器種	法 量 (cm)	手 法	胎 土	焼成	色 調	備 考		
1	土坑1	瓦器 塊	口 径 残存高 底 径	13.8 3.45	外面 内面	口縁部 横ナデ 体部 指オサエ 口縁部 横ナデ 体部 ヘラミガキ	密(小石含む)	良好	外 内 断 淡茶白 タ 白灰	反転復元
2	土坑1	瓦器 塊	口 径 残存高 底 径	— 1.0 4.5	外面 内面	高台貼り付け後横ナデ ヘラミガキ	密	良好	外 内 断 灰黑 タ 白灰	反転復元
3	土坑1	土師質 小皿	口 径 器 底	8.2 1.9	外面 内面	口縁部 横ナデ 底部 指オサエ後ナデ 口縁部 横ナデ 見込み ナデ	密(細砂粒含む)	良好	外 内 断 淡茶 タ 白	反転復元
4	土坑1	土師質 小皿	口 径 器 底	8.7 1.8	外面 内面	口縁部 横ナデ 底部 指オサエ後ナデ 口縁部 横ナデ 見込み ナデ	密	良好	外 内 断 褐 タ 白	反転復元
5	土坑1	土師質 小皿	口 径 残存高 底 径	9.1 1.55	外面 内面	口縁部 横ナデ 底部 ナデ 横ナデ	密(細砂粒含む)	良好	外 内 断 淡橙 タ 白	反転復元
6	土坑1	土師質 小皿	口 径 残存高 底 径	7.1 1.3	外面 内面	口縁部 横ナデ 底部 ナデ 横ナデ	密	良好	外 内 断 淡橙 タ 白	反転復元
7	土坑1	土師質 小皿	口 径 残存高 底 径	7.1 1.4	外面 内面	口縁部 横ナデ 底部 指オサエ 横ナデ	密(細砂粒含む)	良好	外 内 断 淡橙 タ 白	反転復元
8	土坑1	土師質 小皿	口 径 残存高 底 径	7.7 1.5	外面 内面	口縁部 横ナデ 底部 不明 横ナデ	密(細砂粒含む)	良好	外 内 断 淡橙 タ 白	反転復元
9	土坑1	土師質 真硝塗	口 径 残存高 胴 径	13.2 28.4 17.4	外内面共	口縁部 横ナデ 頭部 指オサエ後横ナデ 体部 ナデ	密	やや歎	外 内 断 淡橙 タ 白	反転復元 ヘラ記号 口縁及び外面 薄黒色
10	土坑1	土師質 真硝塗	口 径 残存高 胴 径	13.2 16.3 18.6	外内面共	口縁部 横ナデ 頭部 指オサエ後横ナデ 体部 ナデ	密	良好	外 内 断 淡橙白 タ 白	反転復元 ヘラ記号
11	土坑1	土師質 真硝塗	L 口 径 残存高 胴 径	11.6 17.5	外内面共	口縁部 横ナデ 頭部 指オサエ 体部 ナデ	密	良好	外 内 断 淡茶白 タ 白	反転復元 ヘラ記号
12	土坑1	土師質 真硝塗	L 口 径 残存高 胴 径	12.0 22.2 17.5	外内面共	口縁部 横ナデ 頭部 指オサエ 体部 指オサエ及びナデ	密	良好	外 内 断 暗茶灰白 タ 淡紫白	一部反転復元 ヘラ記号
13	土坑1	土師質 真硝塗	口 径 残存高 胴 径	11.4 23.1 16.8	外内面共	I 口縁部 横ナデ 頭部 指オサエ 体部 指オサエ及びナデ	密(砂粒含む)	良好	外 内 断 淡橙 タ 白	反転復元 ヘラ記号
14	土坑1	土師質 真硝塗	口 径 残存高 胴 径	12.4 19.0	外内面共	口縁部 横ナデ 頭部 指オサエ 体部 指オサエ及びナデ I 口縁部 横ナデ 体部 ナデ	密(細砂粒含む)	良好	外 内 断 淡茶白 タ 白	一部反転復元 ヘラ記号
15	土坑1	土師質 真硝塗	口 径 残存高 胴 径	12.0 22.7 17.3	外内面共	I 口縁部 横ナデ 頭部 指オサエ 体部 指オサエ及びナデ I 口縁部 横ナデ 体部 ナデ	密(砂粒含む)	良好	外 内 断 淡茶白 タ 白	一部反転復元 ヘラ記号
16	土坑1	土師質 真硝塗	口 径 残存高 胴 径	12.3 17.7 19.1	外内面共	口縁部 横ナデ 頭部 指オサエ 体部 指オサエ後ナデ	密(砂粒含む)	良好	外 内 断 淡橙白 タ 白	反転復元 ヘラ記号
17	土坑1	土師質 真硝塗	口 径 残存高 胴 径	13.2 12.8	外内面共	口縁部 横ナデ 頭部 指オサエ 体部 ナデ	密	良好	外 内 断 淡橙白 タ 白	反転復元 ヘラ記号
18	土坑1	土師質 真硝塗	L 口 径 残存高 胴 径	13.2 13.5 17.2	外内面共	口縁部 横ナデ 頭部 指オサエ 体部 指オサエ及びナデ 口縁部 横ナデ 体部 ナデ	密	良好	外 内 断 淡橙白 タ 白	反転復元 ヘラ記号
19	土坑1	土師質 真硝塗	L 口 径 残存高 胴 径	13.0 20.8 18.0	外内面共	口縁部 横ナデ 頭部 指オサエ 体部 指オサエ及びナデ 口縁部 横ナデ 体部 ナデ	密(10mm大の石 含む)	良好	外 内 断 淡碧灰 茶灰 淡橙	反転復元 ヘラ記号
20	土坑1	土師質 真硝塗	L 口 径 残存高 胴 径	13.2 11.7 18.6	外内面共	口縁部 横ナデ 頭部 指オサエ 体部 指オサエ及びナデ 口縁部 横ナデ 体部 ナデ	密	良好	外 内 断 淡橙白 タ 白	反転復元 ヘラ記号

探査番号 遺物番号	出土地点 順位	種類 種類	法 量 (cm)	手 法	胎 土	焼成	色 調	備 考
21	土坑1	土師質 真蛸壺	口 径 12.0 残存高 12.5 胴 径 16.0	外面 口縁部 横ナデ 腹部 指オサエ及びナデ 内面 横縁部 横ナデ	密	良好	外 内 断 層 淡茶灰 淡茶白	反転復元 ヘラ記号
22	土坑1	土師質 真蛸壺	口 径 12.6 残存高 9.0 胴 径 一	外内面共 山縁部 横ナデ 腹部 指オサエ 体部 ナデ	密	良好	外 内 断 層 淡茶灰 暗茶灰 淡橙	反転復元 ヘラ記号
23	土坑1	土師質 真蛸壺	口 径 13.0 残存高 7.2 胴 径 一	外内面共 山縁部 横ナデ 腹部 指オサエ 体部 ナデ	密(砂粒含む)	良好	外 内 断 層 淡橙白 タ ク	反転復元 ヘラ記号
24	土坑1	土師質 真蛸壺	口 径 14.6 残存高 10.9 胴 径 19.2	外面 口縁部 指オサエ横ナデ 腹部 ナデ 内面 11縁部 横ナデ 腹部 ナデ	密	良好	外 内 断 層 淡橙白 タ ク	反転復元
25	土坑1	土師質 真蛸壺	口 径 14.8 残存高 10.0 胴 径 一	外面 口縁部 横ナデ 腹部 指オサエ及びナデ 内面 口縁部 横ナデ 腹部 ナデ	密	良好	外 内 断 層 淡橙白 タ ク	反転復元
26	土坑1	土師質 真蛸壺	口 径 12.0 残存高 10.7 胴 径 一	外内面共 口縁部 横ナデ 腹部 指オサエ 体部 ナデ	密	良好	外 内 断 層 暗茶灰白 タ ク	反転復元
27	土坑1	土師質 真蛸壺	口 径 12.4 残存高 9.2 胴 径 一	外面 口縁部 指オサエ後横ナデ 腹部 ナデ 内面 口縁部 横ナデ 腹部 ナデ	密	良好	外 内 断 層 暗茶灰白 タ ク	反転復元
28	土坑1	土師質 真蛸壺	口 径 12.2 残存高 8.0 胴 径 一	外面 口縁部 指オサエ後横ナデ 腹部 ナデ 内面 口縁部 横ナデ 腹部 ナデ	密(砂粒含む)	良好	外 内 断 層 淡橙白 タ ク	反転復元
29	土坑1	土師質 真蛸壺	口 径 12.6 残存高 6.3 胴 径 一	外内面共 口縁部 指オサエ後横ナデ 腹部 ナデ	密	良好	外 内 断 層 淡橙白 タ ク	反転復元
30	土坑1	土師質 真蛸壺	口 径 13.2 残存高 5.6 胴 径 一	外面 山縁部 横ナデ 腹部 指オサエ後横ナデ 内面 口縁部 ナデ 腹部 ナデ	密(砂粒含む)	良好	外 内 断 層 暗茶灰白 タ ク	反転復元
31	土坑1	土師質 真蛸壺	口 径 12.0 残存高 3.8 胴 径 一	外面 指オサエ後横ナデ 内面 横ナデ	密	良好	外 内 断 層 淡茶白 黄茶白 淡茶白	反転復元
32	土坑1	土師質 真蛸壺	口 径 12.0 残存高 7.9 胴 径 一	外内面共 口縁部 横ナデ 腹部 ナデ	密(8mm大の石 含む)	良好	外 内 断 層 淡橙白 タ ク	反転復元
33	土坑1	土師質 真蛸壺	口 径 一 残存高 18.1 胴 径 17.2	外内面共 指オサエ及びナデ	密(8mm大の石 含む)	良好	外 内 断 層 淡茶白 タ ク	反転復元
34	土坑1	土師質 真蛸壺	口 径 一 残存高 18.7 胴 径 17.0	外内面共 指オサエ及びナデ	密(10mm大の石 含む)	良好	外 内 断 層 淡白 タ ク	一部反転復元
35	土坑1	土師質 真蛸壺	口 径 一 残存高 9.8 胴 径 一	外内面共 指オサエ及びナデ	密	良好	外 内 断 層 淡白 タ ク	一部反転復元
36	土坑2	備前 指揮	口 径 30.6 残存高 6.8 底 径 一	外面 横ナデ 内面 横ナデ オロシ目単位:9本	密(砂粒含む)	良好	外 内 断 層 暗茶 茶灰 。	反転復元 口縁外面に 自然釉
37	土坑3	土師質 羽釜	口 径 20.6 残存高 8.5 底 径 一	外面 口縁部 横ナデ 腹部 ハラ調整 内面 口縁部 ハラ 腹部 ハラ後横ナデ 腹部 ハケ目	密	良好	外 内 断 層 白 タ ク	反転復元 内側黒T色化
38	土坑3	溝焼窯	口 径 65.4 残存高 11.1 底 径 一	外面 口縁部 横ナデ 腹部 ハラ調整 内面 口縁部 横ナデ 腹部 ハケ目	密(細砂含む)	良好	外 内 断 層 タ ク	反転復元
39	土坑4	土師質 壺	口 径 31.8 残存高 7.1 底 径 一	外面 口縁部 横ナデ 腹部 平行タキ 内面 口縁部 横ナデ 腹部 ハケ目	密(砂粒、小石 含む)	良好	外 内 断 層 茶黃 淡茶 。	反転復元
40	土坑4	土師質 壺状土罐	長さ 3.8 幅 1.15 孔 径 0.5	手びねり	密	良好	外 内 断 層 橙 タ ク	一部欠損

埠岡番号 遺物番号	出土地点 順位	種類 器種	法 量 (cm)	手 法	胎 土	焼成	色 調	備 考	
41	土坑4	青磁碗	口 径 残存高 底 径 径	13.0 4.3 —	外面 施釉、線彫り蓮華文 内面 施釉	密(小石含む)	良好	釉 断 結味白灰 淡茶白	反転復元 貰入有り 龍泉窯系
42	土坑4	青磁碗	口 径 残存高 底 径 径	13.2 13.5 —	外面 施釉、線彫り蓮華文 内面 施釉	密	良好	釉 断 暗灰	反転復元 貰入有り 龍泉窯系
43	土坑4	青花碗	口 径 残存高 底 径 径	15.4 4.7 —	外面 施釉、染付け 内面 施釉	密	やや軟 釉 染 断	乳黃茶白 青灰 乳茶灰	反転復元 貰入有り 瀘州窑系
44	土坑4	青花碗	口 径 残存高 底 径 径	— 4.4 5.2	外面 施釉、墨付け露胎、唐草文 内面 高台内界線2条 施釉、見込み草文	密	良好	青味白 青 白	反転復元 景德鎮窯系
45	土坑4	青花皿	口 径 残存高 底 径 径	— 1.1 6.0	外面 施釉、墨付け露胎、砂付着 内面 施釉、下取掛文	密	良好	釉 染 断 乳 青 白	反転復元 景德鎮窯系
46	土坑9	瓦器 壺	口 径 残存高 底 径 径	14.5 2.1 —	外面 口縁部 横ナデ 体部 指オサ工 内面 横ナデ	密	良好	外 内 断 黑 。暗灰	反転復元 二次焼成
47	土坑9	瓦質 壺	口 径 残存高 底 径 径	21.4 3.4 —	外面 口縁部 横ナデ 体部 平行タタキ 内面 横ナデ 体部 ハケ目	密	良好	外 内 断 灰 。淡灰	反転復元
48	土坑9	土師質 焼胎	口 径 残存高 底 径 径	27.0 3.4 —	外面 横ナデ 内面 横ナデ 体部 ハケ目 体部 ハラミガキ	密(繊砂粒含む)	良好	外 内 断 暗灰 茶灰 淡橙	反転復元 二次焼成うち鉛
49	土坑9	唐津 溝縁皿	口 径 器高 底 径 径	13.2 3.4 4.8	外面 施釉、墨付け露胎 内面 施釉、口縁部沈線 見込み 砂土日	密	良好	外 内 断 灰 。白灰	一部反転復元
50	土坑9	偏前 大甕	口 径 残存高 底 径 径	45.4 6.3 —	外面 口縁部 玉縁 横ナデ 内面 横ナデ	密	良好	外 内 断 茶 。茶 褐	反転復元
51	土坑10	唐津 盤	口 径 残存高 底 径 径	— 3.0 7.8	外面 国輪ヘラ削り 露胎 内面 横ナデ 施釉 見込み 砂土日	密	良好	釉 露 断 茶 暗茶 茶灰	反転復元
52	土坑10	丹波 押鉢	口 径 残存高 底 径 径	28.0 4.3 —	外面 横ナデ 内面 横ナデ オロシ目単位:不明	密(砂粒含む)	良好	外 内 断 淡茶白 。暗灰	反転復元
53	土坑1	土師質 小皿	口 径 器底 底 径 径	8.1 — 2.1	外面 口縁部 横ナデ 底部 指オサ工 内面 横ナデ 見込み 指オサ工	密	良好	外 内 断 乳白 。乳茶白	反転復元
54	土坑20	瓦質 火鉢	口 径 残存高 底 径 径	6.2 23.8	外面 俗器 ハラ削り 内面 合ハナハラ削材着 高台張り付後縁ナデ 穿孔 ハラ削り	密(砂粒・小石 合む)	良好	外 内 断 黑灰 。淡灰	反転復元
55	土坑20	堺 擂鉢	口 径 残存高 底 径 径	35.6 7.0 —	外面 口縁部 横ナデ、沈線2条 体部 横ナデ、沈線1条 内面 横ナデ、オロシ目単位:10本	やや粗(砂粒含 む)	良好	外 内 断 暗茶灰 茶 橙	反転復元
56	土坑20	堺 擂鉢	口 径 残存高 底 径 径	36.4 5.0 —	外面 口縁部 横ナデ、沈線2条 体部 横ナデ、沈線1条 内面 横ナデ、オロシ目単位:18本	密(砂粒多く含 む)	良好	外 内 断 茶 赤 。茶 赤	反転復元
57	土坑20	堺 擂鉢	口 径 器底 底 径 径	27.6 11.0 12.8	外面 口縁部 横ナデ、沈線2条 体部 横ナデ、沈線1条 内面 横ナデ、オロシ目単位:5本 見込み オロシ目単位:5本	密	良好	外 内 断 茶 赤 。茶 赤	反転復元
58	土坑23	瓦器 壺	口 径 残存高 底 径 径	13.8 2.6 —	外面 口縁部 横ナデ 体部 指オサ工 内面 横ナデ	密	良好	外 内 断 黑 。灰 黄	反転復元
59	土坑25	肥前系 壺	口 径 残存高 底 径 径	12.7 4.5 —	外面 横ナデ 口縁部 施釉 内面 横ナデ 口縁部 施釉 オロシ目単位:8本	密	良好	釉 断 結味白 乳白	反転復元 貰入有り
60	土坑27	唐津 擂鉢	口 径 残存高 底 径 径	30.3 3.6 —	外面 横ナデ 口縁部 施釉 内面 横ナデ 口縁部 施釉 オロシ目単位:8本	密	良好	外 内 断 淡茶 。暗茶 褐 淡茶	反転復元

採回番号 遺物番号	出土地点 順位	種類 器種	法 量 (cm)	手 法	胎 土	焼成	色 調	備 考	
61	土坑27	唐津 擂鉢	口 径 残存高 底 径	一 4.4 8.6	外面 横ナデ 底部 回転ヘラ削り 内面 横ナデ オロシ目単位:8本	密	良好	外 内 断 層 淡茶 々 黒灰 銀白	一部反転復元
62	土坑28	瓦器 壺	口 径 残存高 底 径	15.6 3.3 —	外面 11縫部 横ナデ 底部 指オサエ 内面 横ナデ及びヘラミガキ	密	良好	外 内 断 層 黒灰 銀白	反転復元
63	土坑28	瓦質 羽釜	口 径 残存高 底 径	20.4 34.8 —	外面 口縁部 横ナデ 溝貼り付け後蜀ヘラ削り 内面 11縫部 ハケ目 底部 ナデ	密(砂粒含む)	良好	外 内 断 層 黒灰 々 淡灰	反転復元
64	土坑29	土師質 小皿	口 径 残存高 底 径	9.2 1.8 —	外面 口縁部 横ナデ 底部 ナデ 内面 11縫部 横ナデ 見込み ナデ	密(細砂粒含む)	良好	外 内 断 層 橙白 々	反転復元
65	土坑29	土師質 小皿	口 径 器高 底 径	9.4 1.45 —	外面 口縁部 横ナデ 底部 ナデ 内面 11縫部 横ナデ 見込み ナデ	密	良好	外 内 断 層 淡黄 々 淡橙	反転復元
66	土坑29	土師質 管状土器	長さ 幅 孔 径	5.9 5.0 2.1	手びねり	密(小石含む)	良好	外 断 層 橙茶 々	ほぼ完型
67	土坑29	土師質 壺	口 径 残存高 底 径	26.2 4.3 —	外面 11縫部 横ナデ 底部 ハナレ砂付着 内面 横ナデ	密(細砂粒含む)	良好	外 内 断 層 暗茶灰 橙茶灰	反転復元 外面砂付着 近縁部黒化
68	土坑29	土師質 炮烙	口 径 残存高 底 径	28.0 4.9 —	外面 溝手貼り付け後横ナデ、穿孔 底部 ヘラ削り 内面 底部 ハナレ砂付着 横ナデ	密(砂粒含む)	良好	外 内 断 層 黒褐 明茶 々	反転復元 紅褐色に近い黒 貼り付け色
69	土坑29	土師質 炮烙	口 径 残存高 底 径	31.8 5.3 —	外面 11縫部 横ナデ 底部 ハナレ砂付着 内面 横ナデ	密(細砂粒含む)	良好	外 内 断 層 褐灰 明茶 々	反転復元 外面煤付着
70	土坑29	土師質 火鉢	口 径 器高 底 径	25.4 7.9 23.0	外面 口縁部 指オサエ及びヘラ削り 底部 ヘラ削り 内面 貼り付け後ナデ 横ナデ	密(砂粒含む)	良好	外 内 断 層 橙 々	反転復元 内凹口部及び底 水滴化色
71	土坑29	打刷毛目 唐津 壺	口 径 器高 底 径	10.9 5.05 4.0	外面 施釉、墨付け露胎 内面 施釉	密	良好	外 内 断 層 黒褐 々 暗灰	反転復元 現川窯系
72	土坑29	刷毛目 唐津 壺	口 径 器高 底 径	10.5 5.05 4.0	外面 施釉、墨付け露胎、砂付着 内面 施釉 見込み 蛇ノ目釉ハギ	密	良好	外 内 断 層 暗灰 々	反転復元
73	土坑29	打刷毛目 唐津 鉢	口 径 残存高 底 径	21.0 4.15 —	内外面共 施釉 口縁部 熟ふき取り	密	良好	外 内 断 層 晴茶 茶	反転復元
74	土坑29	打刷毛目 唐津 香炉	口 径 残存高 底 径	11.0 5.0 —	外面 刷毛による化粧がけ、施釉 内面 口縁部まで施釉、玉縁 底部 露胎	密	良好	外 内 断 層 白灰 暗茶 々 暗灰	反転復元 貢入有り DC斜-RC斜
75	土坑29	唐津系 香炉	口 径 残存高 底 径	7.2 5.2 —	外面 11縫部 界隈2条、草文 高台盤から露胎 内面 口縁部まで施釉	密	良好	外 内 断 層 褐 青 茶 暗灰	反転復元 貢入有り
76	土坑29	京燒風 壺	口 径 残存高 底 径	9.0 4.0 —	外面 施釉、山水文 内面 施釉	密	やや歎	外 内 断 層 黄灰 々 黄白	反転復元 難かい貢入有り
77	土坑29	京燒風 壺	口 径 器高 底 径	12.6 4.4 4.6	外面 施釉、高台ギワから露胎 内面 施釉 見込み 山水文	密	やや歎	外 内 断 層 黄茶灰 々 乳黃白	反転復元 貢入有り 18C
78	土坑29	京燒風 壺	口 径 残存高 底 径	— 3.4 4.1	外面 施釉、墨付け露胎 内面 施釉	密	良好	外 内 断 層 黄灰 々 乳黃白	反転復元 貢入有り
79	土坑29	肥前系 壺	口 径 残存高 底 径	— 3.3 —	外面 板づくり 内面 外内面共 施釉 底部は露胎	密	良好	外 内 断 層 綠味灰 々 淡灰	高台第二次焼成
80	土坑29	肥前系 壺だらい	口 径 残存高 底 径	— 3.3 —	外面 外内面共 施釉 底部は露胎	密	良好	外 内 断 層 うす緑灰 々 灰	小片 貢入有り

擲出番号 遺物番号	出土地点 順位	種類 器種	法 量 (cm)	手 法	胎 上	焼成	色 調	備 考
81	土坑29	伊部 斐利	口 径 — 残存高 底 径 7.2 6.4	外面 横ナデ 腰部以下削りヘラ削り 内面 横ナデ 露胎	密	良好	外 内 断 茶褐色 灰	反転復元 外面に福祿寿
82	土坑29	漆 漆鉢	口 径 高 底 成 10.7 12.8	外面 口縁部 横ナデ、沈線2条 体部 ヘラ削り 内面 口縁部 横ナデ、沈線1条 見込み 木牛乳シヨン単位:7本 オロシ単位:3本	密(砂粒含む)	良好	外 内 断 明茶 灰	反転復元
83	土坑29	漆 漆鉢	口 径 高 底 径 27.2 11.4 13.4	外面 横ナデ、口縁部 横ナデ、沈線2条 内面 口縁部 横ナデ、沈線1条 オロシ単位:11本 見込み オロシ単位:9本	密(砂粒含む)	良好	外 内 断 茶褐色 程茶	片口
84	土坑29	波佐見 碗	口 径 器底 高 径 11.1 5.6 3.9	外面 施胎、蓋付け露胎、梅文 内面 施胎、見込み 蛇ノ目釉ハギ	密	良好	釉 染 断 灰白 青 淡灰	一部反転復元
85	土坑29	波佐見 碗	口 径 器底 高 径 9.4 5.7 3.7	外面 施胎、蓋付け露胎、梅文 内面 施胎	密	良好	釉 染 断 灰白 青 淡灰	一部反転復元 二次焼成
86	土坑29	波佐見 碗	口 径 — 残存高 底 径 2.5 3.8	外面 施胎、墨付露胎、高台内に鉛 内面 施胎	密	良好	釉 染 断 白灰 黑灰 淡灰	反転復元
87	土坑29	波佐見 碗	口 径 残存高 底 径 9.6 3.3 —	外面 施胎 コンニャク印判による模文 内面 施胎	密	良好	釉 染 断 淡灰 白 淡桃茶	反転復元 質入有り
88	土坑29	波佐見 碗	口 径 残存高 底 径 7.5 3.3 —	外面 施胎 コンニャク印判による模と模文 内面 施胎	密	良好	釉 染 断 白灰 青 白灰	反転復元
89	土坑29	波佐見 环	口 径 器底 高 径 8.6 3.75 3.8	外面 施胎、墨付露胎、砂付着 内面 施胎 見込み 鮎ノ目釉ハギ	密	良好	釉 染 断 淡灰 青 白灰	一部反転復元
90	土坑29	波佐見 环	口 径 器底 高 径 7.1 4.2 2.8	外面 施胎、墨付露胎、染付 内面 施胎	密	良好	釉 染 断 青白灰 白灰	ほぼ完型
91	土坑29	磁器 瓶	口 径 残存高 底 径 7.8 4.3 —	外面 施胎 内面 縞彌以下露胎	密	良好	釉 断 淡黄白 白	反転復元 質入有り
92	土坑30	上部質 炮烙	口 径 残存高 底 径 30.0 4.8 —	外面 横ナデ及びハケ目 内面 横ナデ	やや密(微粒砂 多く含む)	良好	外 内 断 ぶい青 灰 淡橙赤	反転復元 外面に落付着
93	土坑30	上部質 炮烙	口 径 残存高 底 径 26.6 4.8 —	外面 口縁部 横ナデ 底部 ハナレ砂付着 内面 横ナデ 見込み ヘラミガキ	やや密(微粒砂 2mmの小石粒含む)	良好	外 内 断 橙赤 橙 淡橙	反転復元 外面に落付着
94	土坑30	上部質 炮烙	口 径 残存高 底 径 25.2 5.2 —	外内面共 横ナデ	やや密(微粒砂 多く含む)	良好	外 内 断 茶褐色 暗 タ	反転復元 外面に落付着
95	土坑30	上部質 炮烙	口 径 残存高 底 径 21.4 4.05 —	外面 横ナデ 内面 口縁部 横ナデ 体部 ナデ	やや密(微粒砂 1mm以下の小石粒 や多く含む)	良好	外 内 断 墨茶 淡橙 黄	反転復元 外面に落付着
96	土坑30	上部質 小皿	口 径 残存高 底 径 8.0 0.95 —	外内面共 横ナデ	密	良好	外 内 断 淡黄 淡橙 黄	反転復元
97	土坑30	肥前系 壺	口 径 器底 高 径 10.6 6.0 4.0	外面 施胎、高台内露胎 内面 施胎	密	良好	外 内 断 灰綠淡青 淡白灰茶 灰白茶	一部反転復元 質入有り
98	土坑30	肥前系 壺	口 径 残存高 底 径 4.0 4.7	外面 施胎、高台内露胎 内面 施胎 見込み 蛇ノ目釉ハギ	密	良好	外 内 断 淡灰白茶 灰白茶	一部反転復元 質入有り
99	土坑30	均整燒 半支 軒平丸	高さ 3.5 幅 9.0	瓦当 唐草文 凹面 凸面 ナデ はなれ砂付着 ヘラ削り 横ナデ	やや密(5mm以下 の小石含む)	良好	瓦当 暗灰黑 断	
100	土坑30	左巴文 軒丸瓦	径 厚さ 15.4 2.0	瓦当 左巴文 逃珠:(14 面 面 角 切り板 直目 内面 外 ヘラ削り ナデ	やや密(4mm以下 の小石含む)	良好	瓦当 灰茶 淡黑	

捲回番号 遺物番号	出土地点 順位	種類 器種	法量 (cm)	手 法	胎 土	焼成	色 調	備 考
101	土坑31	瓦質 香炉	口 径 一 残存高 3.5 底 径 12.4	外面 体部 回転ヘラ削り 脚部 貼り付け後横ナデ 内面 横ナデ	密(砂粒・金雲 母含む)	良好	外 黒 内 灰 断 タ	反転復元 脚1/3残存
102	土坑31	信楽 擂鉢	口 径 一 残存高 3.6 底 径 11.2	外面 体部 横ナデ 底部 ヘラ削り 内面 オロシ目単位:7本 見込み オロシ目単位不明	密	良好	外 灰茶 内 断 タ	反転復元
103	土坑31	波佐見 青磁皿	口 径 12.2 残存高 2.4 底 径 一	外内面共 施釉	密	良好	釉 断 灰灰白灰	反転復元
104	土坑32	土師質 溜斗	口 径 37.6 残存高 31.3 底 径 10.2	外面 ハナレ砂付看 横ナデ 粘土十枚3枚による成型 底部に孕乳	密(砂粒含む)	良好	外 内 淡橙 断 タ	完型
105	土坑33	土師質 焼炉	口 径 25.8 残存高 4.9 底 径 一	外面 口縁部 横ナデ 体部 回転ヘラ削り 底部 ハナレ砂付看 内面 横ナデ	密(砂粒含む)	良好	外 内 灰灰茶 断 タ	反転復元 瓶形 一部破損
106	土坑33	土師質 泡炉	口 径 26.0 残存高 3.4 底 径 一	外内面共 横ナデ	密	良好	外 内 淡茶 断 タ	反転復元 外表面褐色に変色
107	土坑33	土師質 管状土器	長さ 3.3 幅 1.1 孔径 0.5	手びねり	密	良好	外 内 橙 断 タ	一部欠損
108	土坑33	京焼風 壇	口径 10.0 器高 7.3 底径 5.0	外内面共 施釉、疊付け露胎	密	やや軟	釉 淡茶 乳茶白	反転復元 高台部一次焼成 買入有り
109	土坑33	京焼風 壇	口径 一 残存高 2.5 底径 4.1	外内面共 施釉、疊付け露胎	密	やや軟	釉 乳白 断 黄白	反転復元 買入有り
110	土坑33	波佐見 青磁 花瓶	口径 1.6 残存高 13.8 底径 一	外面 施釉 内面 頸部以下露胎	密	良好	釉 断 灰 淡茶灰	
111	土坑33	左巴文 軒丸瓦	径 15.2 厚さ 2.5	瓦当 左巴文 連珠:13 凹面 ヘラ削り ナデ	密(砂粒含む)	良好	瓦当 黑灰 断 黄灰白	
112	土坑33	均整唐草文 軒平瓦	高さ 34.5 幅 24.4	瓦当 均整唐草文 凹面 ヘラ削り 凸面 ヘラ削り、横ナデ	密(砂粒含む)	良好	瓦当 灰 断 灰	
113	土坑33	均整唐草文 軒平瓦	高さ 3.9 幅 26.2	瓦当 均整唐草文 凹面 ヘラ削り 凸面 ヘラ削り、横ナデ	密(砂粒・小石 含む)	良好	瓦当 灰 断 淡灰白	
114	土坑34	二彩焼津 皿	口径 35.4 残存高 4.1 底径 一	外面 施釉、高台脇から露胎 内面 白泥ハケ塗り	密	良好	外 内 茶灰 断 乳白 茶灰	反転復元
115	土坑34	京焼風 壇	口径 10.4 残存高 5.5 底径 一	外内面共 施釉	密	やや軟	釉 乳白 断 黄白	反転復元 買入有り
116	土坑34	砾石	長さ 9.3 幅 6.5 厚さ 1.3					
117	土坑38	土師質 真柄壺	口径 10.6 残存高 7.2 底径 一	外面 口縁部 横ナデ 颈部 指サエ工後横ナデ 内面 横ナデ	密(砂粒含む)	良好	外 内 橙 断 白橙	反転復元
118	土坑38	土師質 小皿	口径 8.4 器高 1.9 底径 一	外面 口縁部 横ナデ 体部 平行タタキ 底部 ハナレ砂付看 内面 横ナデ	密(細砂粒含む)	良好	外 内 橙 断 タ	一部反転復元
119	土坑38	土師質 焼壺	口径 23.6 残存高 7.0 底径 一	外面 口縁部 横ナデ 体部 ヘラ調整 底部 ハナレ砂付看 内面 横ナデ	密(細砂粒含む)	良好	外 内 暗茶 断 淡茶灰 茶	反転復元 二次焼成より熟
120	土坑38	土師質 溜斗	口径 26.0 残存高 10.6 底径 一	外面 口縁部 横ナデ 体部 ヘラ調整 底部 ハナレ砂付看 内面 横ナデ	密(砂粒含む)	良好	外 内 茶灰黄 断 タ	反転復元

探査番号	山土地点 順位	種類 器種	法 量 (cm)	手 法	胎 土	焼成	色 調	備 考
121	土坑38	土師質 湯斗	口 径 36.0 残存高 32.1 底 径 11.0	外面 ハナレ付着 内面 横ナデ 板づくり 底部に穿孔	密(砂粒含む)	良好	外 淡橙 内 断々	反転復元
122	土坑38	土師質 湯斗	口 径 一 残存高 9.2 底 径 9.6	外面 ハラナデ 内面 横ナデ	密	良好	外 淡茶 内 断々 黄灰	反転復元 刻印有り
123	土坑38	白磁皿	口 径 一 残存高 2.05 底 径 7.0	外面 施釉、量付露台、基部底 内面 施釉	密	良好	釉 断々 白	反転復元 燒成窯系
124	土坑38	備前 お爐黒金	口 径 5.6 器高 11.35 底 径 6.4	外面 横ナデ 底部 糸切り 内面 横ナデ	密	良好		ほぼ全周 内面鉄分付着
125	土坑38	備前 鉢	口 径 24.6 残存高 5.9 底 径 一	外内面共 横ナデ	密(砂粒含む)	良好	外 内 断々 暗褐色 暗茶灰	反転復元
126	土坑38	堺 搖鉢	口 径 28.0 器高 11.4 底 径 12.6	外面 1.0mm部 横ナデ、沈練2名 体部 回転ヘラ削り 底部 ヘラ削り 内面 1.0mm部 横ナデ、沈練1名 オシジ目単位: 11本	密(砂粒含む)	良好	外 内 断々 暗茶 橙茶	反転復元
127	土坑38	堺 搖鉢	口 径 30.4 残存高 10.4 底 径 一	1.0mm部 横ナデ、沈練2名 体部 回転ヘラ削り 底部 ヘラ削り 内面 1.0mm部 横ナデ、沈練1名 オシジ目単位: 12本	密(白色石粒含む)	良好	外 内 断々 暗茶 茶赤	反転復元
128	土坑38	堺 搖鉢	口 径 38.2 残存高 14.8 底 径 18.5	外面 1.0mm部 横ナデ、沈練2名 体部 回転ヘラ削り 底部 ヘラ削り 内面 1.0mm部 横ナデ、沈練1名 オシジ目単位: 9本	密(砂粒含む)	良好	外 内 断々 茶褐色 暗灰	反転復元 見込み有り
129	土坑38	備前系 灯明台	口 径 一 残存高 4.6 底 径 3.8	外面 1.0mm以下回転ヘラ削り 露胎 内面 施釉	密	良好	釉 淡黃茶 白灰	一部反転復元 貫入有り
130	土坑38	波佐見 皿	口 径 11.0 残存高 3.1 底 径 一	外内面共 施釉 内面 桧文	密	良好	釉 淡黃茶 白灰	反転復元
131	土坑38	波佐見 皿	口 径 18.4 器高 6.75 底 径 9.2	外面 施釉、量付け露胎 体部 桧文 高台内 界線、溝幅の跡 見込み 手書き五花文	密	良好	釉 白灰 青 白灰	反転復元
132	土坑38	波佐見 猪口	口 径 6.5 器高 5.3 底 径 3.3	外面 施釉、量付け露胎、砂付着 構に並文 施釉、口縁部一部露胎	密	良好		一部反転復元 貫入有り
133	土坑38	波佐見 瓶	口 径 一 残存高 2.25 底 径 3.8	外面 施釉、量付け露胎 内面 露胎	密	良好	釉 淡灰 白 青	反転復元
134	土坑38	瀬戸 碗	口 径 9.6 器高 5.65 底 径 4.1	外面 施釉、量付け露胎 体部 桧文 高台内 一重方形に格子 見込み 油文	密	良好	釉 青味白 青 白	一部反転復元
135	土坑38	瀬戸 碗	口 径 11.2 残存高 4.8 底 径 一	外面 施釉、松文 内面 施釉 口縁部 墨書きによる青文	密	良好	釉 白 青 白	反転復元
136	土坑38	瀬戸 碗	口 径 10.0 残存高 4.6 底 径 一	外内面共 施釉、檍文	密	良好	釉 青味白 青 白	反転復元
137	土坑38	伊賀・信楽系 土瓶	口 径 8.4 残存高 一 底 径 8.2	外面 施釉、体部より露胎 新推き格子文 内面 口縁部まで施釉 通部 猫き取り	密	良好	釉 淡灰 淡茶 淡灰	反転復元 外底部二次焼成
138	土坑38	左巴文 軒丸足	径 さ. 16.2 厚 さ. 2.5	瓦当 左巴文、連珠: 16 ナデ ヘラ削り 凸面 ヘラ削り	密(砂粒含む)	良好	瓦当 淡灰 白 断	
139	土坑38	左巴文 軒丸足	径 さ. 15.4 厚 さ. 2.4	瓦当 左巴文、連珠: 13 ナデ ヘラ削り 凸面 ヘラ削り	密(砂粒含む)	良好	瓦当 黑灰 断 白灰	
140	土坑38	左巴文 軒丸足	径 さ. 14.6 厚 さ. 1.9	瓦当 左巴文、連珠: (14) ナデ ヘラ削り 凸面 ヘラ削り	密(砂粒含む)	良好	瓦当 黑 断 灰白	

拂団番号 遺物番号	出土地点 順位	種類 器種	法 量 (cm)	手 法	胎 土	焼成	色 調	備 考
141	土坑38	左巴文 軒丸瓦	径 厚 さ	15.2 2.0	瓦当 左巴文、速珠：(16) 凹面 ヘラ削り 凸面 手切り痕 ナデ	密(砂粒含む)	良好	瓦当 黒灰 断 斑白灰
142	土坑38	左巴文 軒丸瓦	径 厚 さ	14.4 2.3	瓦当 左巴文、速珠：(20) 凹面 手切り痕 ナデ 凸面 ヘラ削り	密(砂粒含む)	良好	瓦当 黑灰 断 白灰
143	土坑38	左巴文 軒丸瓦	径 厚 さ	14.0 1.6	瓦当 左巴文、速珠：(16) 凹面 ヘラ削り	密(砂粒含む)	良好	瓦当 黑 断 斑白灰
144	土坑38	左巴文 軒丸瓦	径 厚 さ	14.4 2.1	瓦当 左巴文、速珠：(16) 凹面 ヘラ削り、横ナデ	密(砂粒含む)	良好	瓦当 黑 断 斑白灰
145	土坑38	均整唐草文 軒平瓦	高 幅 さ	3.6 23.2	瓦当 均整唐草文 凹面 ヘラ削り 凸面 ヘラ削り、横ナデ	密(砂粒含む)	良好	瓦当 黑 断 淡灰
146	土坑38	均整唐草文 軒平瓦	高 幅 さ	4.3 25.4	瓦当 均整唐草文 凹面 ヘラ削り 凸面 ヘラ削り、横ナデ	密(砂粒含む)	良好	瓦当 黑 断 灰白
147	土坑38	均整唐草文 軒平瓦	高 幅 さ	4.0 23.4	瓦当 均整唐草文 凹面 ヘラ削り 凸面 ヘラ削り、横ナデ	密(砂粒含む)	良好	瓦当 黑灰 断 斑白灰
148	土坑38	均整唐草文 軒平瓦	高 幅 さ	3.8 11.2	瓦当 均整唐草文 凹面 ヘラ削り 凸面 ヘラ削り、横ナデ	密(砂粒含む)	良好	瓦当 黑 断 淡灰斑
149	土坑38	均整唐草文 軒平瓦	高 幅 さ	3.4 22.0	瓦当 均整唐草文 凹面 ヘラ削り 凸面 ヘラ削り、横ナデ	密(砂粒含む)	良好	瓦当 灰 断 白灰
150	土坑38	均整唐草文 軒平瓦	高 幅 さ	3.25 25.0	瓦当 均整唐草文 凹面 ヘラ削り 凸面 ヘラ削り、横ナデ	密(砂粒含む)	良好	瓦当 黑灰 断 淡灰
151	土坑38	硯	長 幅 厚 さ	10.3 7.85 2.35				
152	土坑39	信楽 甕	口 径 残存高 底 径	— 36.7 19.2	外面 体部 横ナデ、沈線1条 底部 ハナレ砂有り、露胎 内面 横ナデ 刷毛による施釉	密	良好	釉 茶 黑 断 白灰 反転復元 藏骨室
153	土坑39	伊賀・信楽系 塊	口 径 残存高 底 径	— 4.9 6.0	外面 腹部以下露胎、飛び錆 内面 施釉	密	良好	外 内 断 黄茶 淡灰 淡灰 反転復元 貫入有り
154	土坑39	黄水通宝	径 厚 さ	4.85 1.05				
155	土坑40	丹波 甕	口 径 残存高 底 径	38.0 27.1 —	外面 施釉 口縁上端 凹線 肩部 四綫 内面 間接刷毛塗り	密	良好	外 内 断 茶 夕 暗灰 反転復元 藏骨室 18C
156	土坑40	伊賀・信楽系 壠	口 径 残存高 底 径	17.4 2.6 —	外面 飛び釉 内面 口縁部 露胎	密	良好	外 内 断 茶褐 灰茶 淡茶白 反転復元 貫入有り
157	土坑40	波佐見 甕	口 径 器高 底 径	11.0 4.65 3.8	外面 施釉、蓋付露胎 内面 施釉 見込み 乾口日袖ハギ、砂付着	密	良好	釉 灰味白 青 白 反転復元
158	土坑41	肥前系 堀蓋	口 径 器高 底 径	8.6 2.9 4.6	外面 口縁部 横ナデ、施釉 内面 口縁以下 回転ヘラ削り、露胎 施釉	密	良好	釉 断 淡灰 淡黄茶 反転復元 繩かい貫入
159	土坑41	肥前系 堀	口 径 残存高 底 径	11.8 6.8 —	外面 施釉、体下部露胎 内面 施釉、口縁部露胎	密	良好	釉 茶黃 黑灰 乳黃白 反転復元 貫入、二塊成形
160	土坑41	信楽系 堀	口 径 残存高 底 径	14.6 3.8 —	外面 口縁部 露胎 内面 施釉、飛び施釉 内面 施釉、口縁部露胎	密	良好	外 内 断 茶 淡灰 灰白 反転復元

押出番号 遺物番号	出土地点 順位	種類 器種	法 量 (cm)	手 法	胎 土	焼成	色 調	備 考	
161	土坑41	信楽系 壺	口 径 17.5 残存高 6.5 底 径 一	外面 17.5 内面 6.5	口縁部下部 露胎 崩部 飛び鉢 内面 施釉、口環部露胎	密(小石含む)	良好	外 内 断 暗茶 灰黄 。	反転復元 二次焼成
162	土坑41	信楽系 壺	口 径 15.2 残存高 4.5 底 径 一	外面 15.2 内面 4.5	施釉、休下部露胎 筒書き、格子に梅文 内面 施釉、口縁部露胎	密	良好	釉 白 灰 断 灰 灰 。	反転復元 把手欠損 蓋無しは複数有り
163	土坑41	信楽系 片口鉢	口 径 12.8 残存高 8.4 底 径 8.5	外面 12.8 内面 8.4 底径 8.5	施釉、腰部以下目皿へラ削り露胎 施釉、口縁部露胎	密	良好	釉 露 灰 断 暗 灰 灰 。	反転復元 貰入有り
164	土坑41	信楽系 壺	口 径 9.6 残存高 3.9 底 径 一	外面 9.6 内面 3.9	施釉、腰部以下露胎 施釉、11.5cm端部露胎	密	良好	釉 露 灰 断 明茶 暗灰 。	反転復元 細かい貰入
165	土坑41	信楽系 壺	口 径 一 残存高 4.0 底 径 7.1	外面 一 内面 4.0	施釉、腰部以下回転ヘラ削り露胎 施釉	密	良好	釉 露 灰 断 白 暗 灰 白 。	反転復元
166	土坑41	信楽系 青炉	口 径 一 残存高 4.3 底 径 6.6	外面 一 内面 4.3	施釉、腰部以下露胎 施釉	密	良好	釉 露 灰 断 灰 灰 。	一部反転復元
167	土坑41	瀬戸 碗	口 径 10.0 器高 6.35 底 径 3.9	外面 10.0 内面 6.35	施釉、垂付け露胎、草文 施釉 口縁部 番文 見込み 丸文	密	良好	釉 染 白 青 白 。	一部反転復元
168	上坑41	瀬戸 碗	口 径 10.5 器高 5.75 底 径 4.1	外面 10.5 内面 5.75 底径 4.1	施釉、垂付け露胎 継に丸と番文 施釉、見込みに文 界線3条	密	良好	釉 染 白 青 白 。	一部反転復元
169	土坑41	瀬戸 碗	口 径 10.8 器高 5.55 底 径 3.8	外面 10.8 内面 5.55	施釉、垂付け露胎 継に丸と番文 施釉、界線3条	密	良好	釉 染 白 青 白 。	反転復元
170	土坑41	瀬戸 碗	口 径 3.1 残存高 3.1 底 径 4.0	外面 3.1 内面 3.1	施釉、垂付け露胎 継に丸と番文 内面 見込みに文	密	良好	釉 染 白 青 白 。	反転復元
171	土坑41	瀬戸 うがい瓶	口 径 11.5 残存高 2.4 底 径 一	外面 11.5 内面 2.4	施釉、型紙摺り 施釉	密	良好	釉 染 白 青 白 。	反転復元
172	土坑41	瀬戸 うがい瓶	口 径 10.9 器高 6.15 底 径 4.0	外面 10.9 内面 6.15	施釉、垂付け露胎 型紙摺り梅文 施釉	密	良好	釉 染 白 青 白 。	一部反転復元
173	土坑41	瀬戸 皿	口 径 2.15 残存高 8.6 底 径 一	外面 2.15 内面 8.6	施釉、高台内露胎 蛇目四型高台、型紙摺り 施釉、見込みにハリ日痕 型紙摺り	密	良好	釉 染 白 青 白 。	反転復元
174	土坑41	色釉 段重	口 径 8.7 器高 3.65 底 径 15.3	外面 8.7 内面 3.65	施釉、裏端部露胎 崩と笹文 施釉 口縁部 丸引き取り露胎	密	良好	釉 染 白 青 赤 黄 金 白 。	反転復元
175	土坑41	左巴文 軒丸	径 14.4 厚さ 2.0	瓦当 左巴文、連珠9/16残存 凹面 系切り痕、布目、ナデ	瓦当 左巴文、連珠9/16残存 凹面 ハラ削り、ナデ	密(砂粒含む)	良好	瓦当 黒 断 灰 。	
176	土坑41	左巴文 軒丸	径 14.8 厚さ 1.5	瓦当 巴文、連珠4/20残存 凹面 系切り痕、布目、ナデ	瓦当 巴文、連珠4/20残存 凹面 ハラ削り、ナデ	密(砂粒含む)	良好	瓦当 黒 断 灰 。	
177	土坑41	均整唐草文 軒平瓦	高さ 3.7 幅 22.5	瓦当 均整唐草文 凹面 ハラ削り 凸面 ハラ削り、横ナデ	密(砂粒・小石含む)	良好	瓦当 黒 断 灰 。		
178	構1	瀬戸美濃 皿	口 径 10.5 器高 2.05 底 径 6.4	外面 施釉、垂付け高台内露胎 内面 施釉	密(黑色砂粒含む)	良好	釉 染 白 。	反転復元 貰入有り	
179	構5	柄毛口 唐津 壺	口 径 11.2 器高 6.45 底 径 5.0	外面 施釉、垂付け露胎 内面 施釉	密	良好	釉 染 白 。	一部反転復元 貰入有り	
180	構6	波佐見 青磁 碗	口 径 10.8 残存高 3.2 底 径 一	外内面共 施釉	密	良好	外 内 断 綠味灰 白灰 。	反転復元	

標題番号 遺物番号	出土地点 原位	種類 器種	法 量 (cm)	手 法	胎 土	焼成	色 調	備 考
181	落ち込み	上師質 小皿	口 径 8.9 残存高 1.15 底 径 一	外内面共 横ナデ	密	良好	外 内 断 淡橙 タマ	反転復元
182	落ち込み	青磁 花瓶	口 径 4.2 残存高 2.2 底 径 一	外内面共 施釉	密	良好	釉 断 輪 磁灰 茶味白	反転復元 貰入有り
183	落ち込み	廣津 鐵繪 鉢	口 径 18.6 残存高 10.7 底 径 8.0	外面 施釉、高台墨から露胎 縦縫高台 内面 施釉、見込み砂土痕	密	良好	施 染 断 灰綠 黑褐 茶灰	反転復元 貰入有り 18C
184	落ち込み	京焼風 壺	口 径 9.4 器高 7.15 底 径 4.8	外面 施釉、豈付け露胎 内面 施釉	密	やや歎	胎 白 乳黃白	貰入有り
185	落ち込み	唐津系 綠細 壺	口 径 10.2 残存高 4.7 底 径 一	外面 緑施釉 内面 施釉、飛び釉有り	密	良好	外 内 断 淡綠 淡茶白 淡茶白	反転復元 貰入有り
186	土器溜り	瓦質 羽釜	口 径 23.8 残存高 7.7 底 径 一	外面 口縁部 橫ナデ 縫貼り分け、焼下同板へラ削り 体部 ヘラ削り 内面 □縫部 ハケ後横ナデ ハケ目	密(砂粒含む)	良好	外 内 断 黒 黑褐 茶灰	反転復元 外面搽付着
187	土器溜り	上師質 煙烙	口 径 28.6 残存高 2.7 底 径 一	外面 表面剥離のため調整不明 内面 口縁部 橫ナデ 体部 ハケ目	密(細砂粒含む)	良好	外 内 断 淡茶灰 タマ	反転復元 口縁部黒褐色に変色
188	土器溜り	上師質 煙烙	口 径 32.4 残存高 3.85 底 径 一	外面 体部 橫ナデ 底部 ハナレ砂付着 内面 橫ナデ	密(砂粒含む)	良好	外 内 断 暗茶 茶灰 淡茶	反転復元 削削輪部跡
189	土器溜り	土師質 火鉢	口 径 16.0 残存高 5.4 底 径 12.2	外面 口縁部 橫ナデ 体部 回転ヘラ削り 底部 ヘラ削り 内面 表面剥離のため調整不明	密(砂粒含む)	良好	外 内 断 黒褐 淡茶 灰黒	反転復元 外表面黒色に変色
190	土器溜り	土師質 火鉢	口 径 一 残存高 6.2 底 径 13.8	外面 体部 摩滅のため調整不明 内面 体部 ハナレ砂付着	密(小石・砂粒 含む)	良好	外 内 断 淡橙 タマ	反転復元
191	土器溜り	土師質 漏斗	口 径 37.4 残存高 10.3 底 径 一	外面 口縁部 橫ナデ 体部 ハナレ砂付着 内面 橫ナデ 板づくし	密(細砂粒含む)	良好	外 内 断 茶黄 タマ	反転復元 墨書き(不明)
192	土器溜り	丹波 搗鉢	口 径 34.6 残存高 5.6 底 径 一	外面 橫ナデ 内面 橫ナデ オロシ目単位:7本	密(砂粒含む)	良好	外 内 断 茶 茶灰	反転復元 内面自然釉
193	土器溜り	堺 搗鉢	口 径 20.8 残存高 7.0 底 径 一	横ナデ、口縁部沈綴2条 内面 口縁部 橫ナデ、沈綴1条 オロシ目単位:18本	密	良好	外 内 断 暗茶 赤褐	反転復元
194	土器溜り	肥前系 片口鉢	口 径 13.4 残存高 3.3 底 径 一	外内面共 施釉	密	良好	釉 断 緋黃灰 淡灰灰	反転復元 貰入有り
195	土器溜り	伊万里 盆	11 径 一 残存高 1.5 底 径 3.9	外面 施釉、豈付け露胎、はなれ付着 内面 施釉、花文	密	良好	釉 断 灰白 青 淡茶白灰	反転復元 貰入有り
196	土器溜り	伊万里 盆	11 径 一 残存高 1.4 底 径 6.4	外面 施釉、豈付け露胎 内面 施釉、山水文	密	良好	釉 断 青味白 灰味青	一部復板復元
197	土器溜り	波佐見 碗	L1 径 9.2 残存高 4.7 底 径 一	外面 施釉、一重網目文 内面 施釉	密	良好	釉 断 淡灰 うす青 白灰	反転復元
198	土器溜り	瀬戸 碗	口 径 10.7 残存高 2.25 底 径 一	外面 施釉、口縁端部口さび 雲龍文 内面 施釉、梵文	密	良好	釉 断 青味白 青白	反転復元
199	土器溜り	瀬戸 碗	口 径 9.0 器 高 4.6 底 径 4.0	外面 施釉、豈付け露胎 内面 施釉、見込み界線2条	密	良好	釉 断 青味白 青白	反転復元
200	土器溜り	瀬戸 碗	口 径 10.0 残存高 3.8 底 径 一	外面 施釉、草文 内面 □縫部 茶碗文 見込み 界線2条	密	良好	釉 断 青味白 青白	反転復元

掲出番号	出土地点 遺物番号	種類 器種	法 量 (cm)	手 法	胎 上	焼成	色 調	備 考
201	土器縁り	瀬戸 うがい碗	口 径 一 残存高 3.3 底 径 3.6	外面 施釉、墨付け露胎 折り輪文 内面 施釉	密	良好	釉 青味白 青	反転復元
202	土器縁り	左巴文 軒丸瓦	径 14.6 厚さ 1.5	瓦当 左巴文、連珠:(12) 凹面 指オサエ、横ナデ	密(砂粒含む)	良好	瓦当 黒 断面 白灰	
203	土器縁り	軒丸瓦	径 14.4 厚さ 1.7	瓦当 連珠:(16) 凹面 布目、ナデ 凸面 ヘラ削り	密(砂粒・小石 含む)	良好	瓦当 黒 断面 白灰	
204	土器縁り	道共瓦	径 9.0 厚さ 1.6	瓦当 左巴文 凹面 布目、ナデ、横ナデ 凸面 ヘラ削り	密(砂粒含む)	良好	瓦当 黒 断面 白灰	
205	土器縁り	均整唐草文 軒半瓦	高さ 3.5 幅 25.0	瓦当 均整唐草文 凹面 ヘラ削り 凸面 ヘラ削り、横ナデ	密(砂粒含む)	良好	瓦当 黒 断面 白灰	
206	土器縁り	均整唐草文 軒半瓦	高さ 4.4 幅 9.5	瓦当 均整唐草文 凹面 ヘラ削り 凸面 ヘラ削り、横ナデ	密(砂粒含む)	良好	瓦当 黒 断面 白灰	
207	土器縁り	均整唐草文 軒半瓦	高さ 3.8 幅 11.2	瓦当 均整唐草文 凹面 ヘラ削り 凸面 ヘラ削り、横ナデ	密(砂粒含む)	良好	瓦当 銀黒 断面 白灰	
208	土器縁り	均整唐草文 軒半瓦	高さ 4.1 幅 22.8	瓦当 均整唐草文 凹面 ヘラ削り 凸面 ヘラ削り、ナデ、横ナデ	密(砂粒含む)	良好	瓦当 黑 断面 白灰	
209	土器縁り	均整唐草文 軒半瓦	高さ 3.7 幅 26.0	瓦当 均整唐草文 凹面 ヘラ削り 凸面 ヘラ削り、横ナデ	密(砂粒含む)	良好	瓦当 黑 断面 白灰	反転復元
210	暗茶色 粘質土	瀬戸文 軒丸瓦	径 17.2 厚さ 2.8	瓦当 織部文、連珠:(20) 通子:(13) 凹面 布目、ナデ、ヘラ削り 凸面 ヘラ削り	密(砂粒含む)	良好	瓦当 黑 断面 白灰	
211	暗茶色 粘質土	瓦質 擂鉢	口 径 32.4 残存高 5.6 底 径 2	外面 口縁部 横ナデ 体部 ヘラ削り 内面 口縁部 横ナデ 体部 オロシ目単位:不明	やや粗(小石含 む)	良好	外 黑 内 断 底 浅灰	反転復元
212	暗茶色 粘質土	上部質 羽釜	L1 径 21.2 残存高 11.5 底 径 2	外面 口縁部 横ナデ 体部 ヘラ削り 内面 口縁部 横ナデ 体部 オロシ目単位:不明	密(砂粒含む)	良好	外 淡茶 内 断 底 淡茶	反転復元 外面保存着
213	暗茶色 粘質土	擂前 擂鉢	口 径 29.2 残存高 5.4 底 径 2	外面 横ナデ 内面 口縁部 横ナデ 体部 オロシ目単位:8本	密	良好	外 暗茶 内 断 底 淡茶	反転復元 口縁外周褐色
214	暗茶色 粘質土	擂前 擂鉢	口 径 29.6 残存高 4.2 底 径 2	外面 横ナデ 内面 横ナデ 体部 オロシ目単位:不明	密(砂粒含む)	良好	外 茶 内 断 底 明茶 灰	反転復元
215	暗茶色 粘質土	湯焼 甕	口 径 42.8 残存高 9.4 底 径 2	外面 口縁部 横ナデ 体部 平行タタキ 内面 口縁部 横ナデ 体部 ハケ目	密(砂粒多く含 む)	良好	外 淡橙 内 断 底 淡茶白 淡茶白	反転復元
216	暗茶色 粘質土	湯焼 甕	口 径 44.6 残存高 7.5 底 径 2	外面 口縁部 横ナデ 体部 平行タタキ後ハケ目 内面 口縁部 横ナデ 体部 ハケ目	密(細砂粒含む)	良好	外 淡橙 内 断 底 淡茶白	反転復元
217	暗茶色 粘質土	湯焼 甕	口 径 60.6 残存高 8.5 底 径 2	外面 口縁部 横ナデ 体部 平行タタキ後ナデ消し 内面 口縁部 横ナデ 体部 ハケ目	密(砂粒含む)	良好	外 淡橙白 内 断 底 淡橙	反転復元
218	暗茶色 粘質土	土師質 管状土錐	長さ 4.15 幅 1.2 孔 径 0.45	手びねり	密	良好	外 茶白	完型
219	暗茶色 粘質土	土師質 管状土錐	長さ 4.2 幅 1.3 孔 径 0.4	手びねり	密	良好	外 暗茶	ほぼ完型
220	暗茶色 粘質土	上部質 管状土錐	長さ 4.0 幅 1.3 孔 径 0.5	手びねり	密(微砂粒多く 含む)	良好	外 灰	完型

捲回番号 遺物番号	出土地点 順位	種類 器種	法 量 (cm)	手 法	胎 土	焼成 度	色 調	備 考
221	暗茶色 粘質土	土師質 管状土錐	長さ 幅 孔径	3.6 1.1 0.3	手びねり	密	良好	外 橙
222	暗茶色 粘質土	青磁 碗	口 径 残存高 底	— 3.25 3.4	外面 施釉、疊付け露胎 内面 ハフ彫り蓮華文 施釉	密	良好	釉 暗緑灰 茶灰 断
223	暗茶色 粘質土	青花 皿	口 径 残存高 底	— 2.1 2.7	外面 施釉、疊付け露胎、沙付青 花台 菊瓣底 色蕉葉文 内面 施釉 見込み 捨花文	密	良好	釉 灰 青 淡茶灰 断
224	暗茶色 粘質土	瀬戸美濃 皿	口 径 残存高 底	9.3 1.75 5.4	外面 施釉、茎苟底 内面 施釉	やや粗	良好	釉 綠黃 乳茶白 断
225	暗茶色 粘質土	瀬戸美濃 皿	口 径 残存高 底	— 1.55 5.8	外面 施釉、疊付け露胎 内面 施釉	密	やや歯	釉 綠黃 白灰 断
226	暗茶色 粘質土	唐津 塊	口 径 残存高 底	9.0 5.8 3.5	外面 施釉、高台脇から露胎 内面 繰織高台 施釉	密	良好	釉 白 明茶 断
227	暗茶色 粘質土	唐津 塊	口 径 残存高 底	— 3.1 3.8	外面 施釉、高台脇から露胎 内面 繰織高台 施釉	密	良好	釉 綠味灰 淡灰 断
228	暗茶色 粘質土	唐津 盤	口 径 残存高 底	— 4.6 9.9	外面 河軌ハラ削り、露胎 内面 施釉 見込み 胎土日痕	密	良好	外 内 基 灰 綠 黃灰 断
229	暗茶色 粘質土	唐津 鉢	口 径 残存高 底	20.0 5.7 —	外面 施釉、口縁部釉フキ取り 内面 施釉、一部釉ギレ露胎	密	良好	釉 黃味灰 波茶々 断
230	暗茶色 粘質土	唐津系 壺	口 径 残存高 底	— 3.6 5.0	外面 壺部以下回転ハラ削り、露胎 内面 施釉	密	良好	釉 黑褐 白灰 断
231	暗茶色 粘質土	肥前系 灯明皿	口 径 器高 底	6.0 1.85 3.6	外面 口縁部 施釉 内面 受部以下回転ハラ削り、露胎 施釉	密	良好	釉 淡灰 淡黄白 断
232	暗茶色 粘質土	肥前系 水滴	口 径 残存高 底	— 3.1 2.6	ひょうたん型 型づくり 外面 施釉	密	良好	釉 乳黃白 青灰 乳黃白 断
233	暗茶色 粘質土	波佐見 青磁 碗	口 径 残存高 底	— 3.05 3.8	外面 施釉、疊付け露胎 内面 高台内 一童子形に萬福 施釉、見込み 界報2条 口縁部 手描き五弁花	密	良好	外 内 基 綠灰 淡灰 青灰 白灰 断
234	暗茶色 粘質土	波佐見 青磁 碗	口 径 残存高 底	6.8 5.8 3.6	外面 施釉、疊付け露胎、菱形文 内面 施釉、口縁部 四方標文 見込み コンニヤク印押五弁花	密	良好	釉 黃味白 青白 断
235	茶黒色土	白磁 罐反皿	口 径 器高 底	12.2 3.0 6.3	外面 施釉、疊付け露胎 内面 施釉	密	良好	釉 灰味白 白 断
236	茶黒色土	肥前系 塊	口 径 残存高 底	8.5 5.8 —	外 内面共 施釉	密	良好	釉 暗茶 茶灰 断
237	茶黒色土	磁器 猪口	口 径 残存高 底	6.5 3.7 —	外 内面共 施釉	密	良好	釉 白灰 淡茶白灰 断
238	茶黒色土	磁器 猪口	口 径 残存高 底	6.9 2.4 —	外面 施釉 口縁部 界線2条 内面 施釉 口縁部 界線1条	密	良好	釉 青味白 青 白茶 断
239	茶黒色土	土師質 管状土錐	長さ 幅 孔径	3.8 1.1 0.45	手びねり	密	良好	外 断 淡茶白灰 々
240	暗茶 灰色土	土師質 管状土錐	長さ 幅 孔径	4.0 1.1 0.45	手びねり	密	良好	外 橙灰 断

押固番号 遺物番号	出土地点 順位	種類 器種	法 量 (cm)	手 法	胎 土	焼成 外 内 断	色 調	備 考	
241	暗茶 灰色土	土師質 火明皿	口 径 9.0 残存高 底 径 1.95	外面 ナデ 内面 ヘラミガキ	密	良好	外 内 断	暗茶黒 暗茶白 暗茶	反転復元 口縁部付着
242	暗茶 灰色土	土師質 火焰	口 径 28.0 残存高 底 径 5.0	外面 口縁部 横ナデ 体部 平行タタキ 内面 口縁部 ハケ目 体部 横ナデ	やや密(微粒砂 多く含む)	良好	外 内 断	茶黒 淡橙 淡橙赤	反転復元 外側焼付着
243	暗茶 灰色土	湯焼 甕	口 径 59.0 残存高 底 径 14.5	外面 口縁部 横ナデ 体部 平行タタキ後ナデ 内面 口縁部 横ナデ 体部 ハケ目	密(細砂粒含む)	良好	外 内 断	淡橙 黄 淡橙	反転復元
244	暗茶 灰色土	湯焼 甕	口 径 62.6 残存高 底 径 88.0	外面 11縫部 横ナデ 体部 平行タタキナギ溶し 内面 11縫部 横ナデ 体部 ハケ目、足込 ハラ網り	密(砂粒含む)	良好	外 内 断	淡橙 黄 淡橙	反転復元
245	暗茶 灰色土	唐津 皿	口 径 9.8 残存高 底 径 1.75	外面 施釉、高台脇から露胎 内面 施釉	密	良好	釉 断	綠苔灰 茶灰白	反転復元 貫入有り
246	暗茶 灰色土	伊万里 鏡	口 径 一 残存高 底 径 2.9 径 4.6	外面 施釉、叠加け露胎 体部 ハラ削り、壽の文字 内面 施釉	密	良好	釉 断	青白灰 青白	反転復元
247	暗茶 灰色土	褐釉 四耳甕	口 径 14.2 器 高 底 径 23.8 14.6	外面 口縁部 横ナデ 体部 混合削り、貼り付け 内面 11縫部 横ナデ 体部 ハラ削り及び露胎へハ削り 内面 11縫部 横ナデ 体部 ハラ削り	密	良好	外 内 断	茶褐 白茶	反転復元 見込に鉛付着 李朝陶器
248	暗茶 灰色土	銅製 キセル 吸口	長さ 6.1 幅 0.95 厚さ 0.08						
249	濃茶色土	土師質 管状土錐	長さ 4.2 幅 1.2 孔 径 0.5	手びねり	密	良好	外 内 断	橙赤	完型
250	濃茶色土	土師質 小皿	口 径 8.75 残存高 底 径 2.1 —	外内面共 摩滅のため調整不明	密(細砂粒含む)	良好	外 内 断	淡橙 黄	反転復元
251	濃茶色土	土師質 火鉢	口 径 14.4 残存高 底 径 10.0 —	外内面共 横ナデ 頭部に穿孔	密(砂粒含む)	良好	外 内 断	茶橙 黄	反転復元 縦か斜め
252	濃茶色土	唐津 壺	口 径 10.3 器 高 底 径 5.7 3.8	外面 施釉、高台脇から露胎 内面 横編高台 施釉	密	良好	釉 断	暗綠 茶白	反転復元 貫入有り
253	儀茶色土	唐津 清経皿	口 径 12.1 残存高 底 径 1.2 —	外面 施釉 内面 施釉 口縁部 沈線	密	良好	釉 断	綠苔灰 淡灰	反転復元 貫入有り
254	濃茶色土	唐津系 甕	口 径 9.2 残存高 底 径 3.2 —	外内面共 横ナデ	密	良好	外 内 断	茶 淡茶白 黄	反転復元
255	濃茶色土	京焼風 壺	口 径 11.4 残存高 底 径 5.65 —	外内面共 施釉	密	良好	釉 断	淡黃茶白 黄	反転復元 縦か斜め貫入有り
256	濃茶色土	堀 擂鉢	口 径 32.0 残存高 底 径 6.75 —	外面 口縁部 横ナデ、沈線2条 体部 反転ハラ削り 内面 口縁部 横ナデ、沈線1条 オシロ目単位: 9本	密(砂粒含む)	良好	外 内 断	橙茶 黄	反転復元
257	濃茶色土	堀 鉢	口 径 24.0 残存高 底 径 2.5 —	外面 11縫端部 沈線1条 口縁部 横ナデ、沈線3条 内面 横ナデ	密(砂粒含む)	良好	外 内 断	暗茶 茶橙	反転復元
258	濃茶色土	波佐見 碗	口 径 9.8 器 高 底 径 5.75 3.6	外面 施釉、叠加け露胎、梅文 内面 施釉	密	良好	釉 断	白灰 青灰 白灰	一部反転復元
259	濃茶色土	波佐見 皿	口 径 14.2 残存高 底 径 2.2 —	外面 施釉、叠加け 内面 施釉	密	良好	釉 断	青灰 青灰 白灰	反転復元 貫入有り
260	濃茶色土	波佐見 猪口	口 径 7.85 器 高 底 径 4.1 3.0	外面 施釉、叠加け露胎 内面 雨降り文 施釉	密	良好	釉 断	被灰灰 暗茶 桃灰	反転復元

標図番号	出土地点 順位	種類 器種	法 量 (cm)	手 法	胎 土	焼成	色 調	備 考
261	濃茶色土	瀬戸 段重	口径 残存高 底 径	12.3 5.1 —	外面 施釉、捺付け 内面 施釉 口縁部 種ふき取り露胎	密	良好	釉 白 青 白
262	濃茶色土	左巴文 軒丸瓦	径 厚 さ	14.2 1.8	瓦面 左巴文、達珠9/16残存 凹面 ヘラ削り	密(砂粒含む)	良好	瓦当 濃黒 断淡灰
263	濃茶色土	漆燒 壺	口径 残存高 底 径	40.4 9.0 —	外面 口縁部 横ナデ 体部 平行タタキ 内面 ハケ目	密(細砂粒含む)	良好	外 内 断 淡橙 々 々
264	濃茶 灰色土	土師質 泡塔	口径 残存高 底 径	23.0 4.15 —	外面 横ナデ 内面 横ナデ及びハケ目	やや密(微粒砂 多く含む)	良好	外 内 断 暗橙 々 々
265	濃茶 灰色土	土師質 泡塔	口径 残存高 底 径	23.2 4.3 —	外面 横ナデ 内面 横ナデ及びヘラ削り	やや密(微粒砂 多く含む)	良好	外 内 断 茶黒 淡橙 淡橙赤
266	濃茶 灰色土	土師質 泡塔	口径 残存高 底 径	25.0 4.6 —	外面 口縁部 横ナデ 内面 横ナデ及びヘラ削り	やや密(5mm以 下の小石粒・微 粒砂含む)	良好	外 内 断 茶橙 橙赤
267	濃茶 灰色土	土削質 施釉 焰燐	口径 残存高 底 径	27.8 5.4 —	外面 体部 橫ナデ 内面 底部 はなれ砂付着 体部 横ナデ、見込みナデ 外面部以外施釉	やや密(白色微 粒多く含む)	良好	外 内 断 紫褐 々 赤橙
268	濃茶 灰色土	土師質 管状土錐	長さ 幅 孔 径	3.7 1.0 4.05	手びねり	密	良好	外 淡黃青桃
269	濃茶 灰色土	唐津 壺	口径 高 底 径	10.8 3.25 4.4	外面 施釉、高台内露胎 施釉 高台 内面 見込み砂上目鹿	密	良好	釉 断 淡灰壓茶 橙茶
270	濃茶 灰色土	唐津 壺	口径 高 底 径	11.6 4.75 4.4	外面 施釉、臺付け露胎 内面 はなれ砂付着 施釉 見込み 見込み 蛇ノ目輪ハギ	密	良好	外 内 断 淡綠茶 濃茶 淡灰茶黒
271	濃茶 灰色土	刷毛目 唐津 片口鉢	口径 残存高 底 径	17.4 7.05 —	外面 施釉、口縁部露胎 内面 体部に穿孔後片口貼り付け 施釉	密	良好	外 内 断 淡灰茶 淡灰白茶 淡橙
272	濃茶 灰色土	肥前系 壺	口径 高 底 径	12.8 5.3 6.5	外面 施釉、臺付け露胎 内面 施釉 見込み 蛇ノ目輪ハギ	密	良好	外 内 断 淡灰白茶 明淡灰白茶 淡灰茶黒
273	濃茶 灰色土	肥前系 壺	口径 残存高 底 径	14.0 2.8 —	外内共 施釉	密	良好	釉 断 淡灰白茶 黄
274	濃茶 灰色土	肥前系 壺	口径 残存高 底 径	— 2.4 4.6	外面 施釉、臺付け露胎 内面 施釉 見込み 蛇ノ目輪ハギ	密	良好	釉 断 淡灰白茶 黄
275	暗灰茶色 粘質土	瀬戸 皿	口径 高 底 径	12.6 3.35 7.2	外面 施釉、高台内露胎 内面 施釉、高台内露胎 見込み 蛇ノ目輪ハギ 施釉、見込みにハリ自発 紙貼り	密	良好	釉 白 青 白
276	暗灰茶色 粘質土	備前 鉢	口径 残存高 底 径	29.6 3.7 —	口縁部 柳指設状文	密	良好	外 内 断 茶褐 灰
277	調査区 一括	漆燒 壺	口径 残存高 底 径	63.6 11.8 —	外面 施釉、横ナデ 内面 体部 平行タタキ後ナデ消し 口縁部 横ナデ 体部 ハケ目	密(細砂粒含む)	良好	外 内 断 淡黃 淡橙白 淡橙
278	調査区 一括	漆燒 壺	口径 残存高 底 径	33.2 9.5 —	外面 口縁部 横ナデ 内面 体部 平行タタキ 口縁部 ハケ後横ナデ 体部 ハケ目	密(砂粒含む)	良好	外 内 断 淡茶白 淡橙 々
279	調査区 一括	漆燒 壺	口径 残存高 底 径	43.4 9.8 —	外面 口縁部 横ナデ 内面 体部 平行タタキ ハケ目	密(砂粒含む)	良好	外 内 断 褐色 々 々
280	調査区 一括	土師質 小皿	口径 残存高 底 径	8.6 1.6	外内共 横ナデ	密(細砂粒含む)	良好	外 内 断 淡橙 々 々

押出番号 遺物番号	出土地点 順位	種類 器種	法 量 (cm)	手 法	胎 土	焼成	色 調	備 考
281	調査区一括	土師質 管状土錐	長さ 3.8 幅 1.05 孔 径 0.5	手びねり	密	良好	外 淡茶	完型
282	調査区一括	土師質 管状土錐	長さ 3.85 幅 1.2 孔 径 0.4	手びねり	密	良好	外 橙	完型
283	調査区一括	土師質 管状土錐	長さ 4.0 幅 1.1 孔 径 0.45	手びねり	密	良好	外 橙灰	完型
284	調査区一括	土師質 真鍮壺	口 径 13.2 残存高 9.5 底 径 9.5	外面 口縁部 横ナデ 側部 指オサエ 体部 ハラ削り 内面 口縁部 横ナデ 側部 指オサエ 体部 ハラ削り	密(砂粒含む)	良好	外 内断 淡橙黄 淡橙 淡橙白	反転復元
285	調査区一括	土師質 真鍮壺	口 径 13.6 残存高 7.3 底 径 7.3	外面 口縁部 横ナデ 側部 指オサエ 体部 ハラ削り 内面 口縁部 横ナデ 側部 指オサエ 体部 ハラ削り	密(砂粒含む)	良好	外 内断 淡橙白 淡橙	反転復元
286	調査区一括	土師質 真鍮壺	口 径 13.4 残存高 5.1 底 径 5.1	外面 口縁部 指オサエ後横ナデ 内面 口縁部 横ナデ 側部 ハラ削り 体部 ナデ	密(15mmの石含む)	良好	外 内断 橙白 タマ	反転復元
287	調査区一括	瓦質 擂鉢	口 径 27.2 残存高 4.7 底 径 一	外面 口縁部 横ナデ 内面 体部 ハラ削り 横ナデ 体部 ハケ目	密(砂粒含む)	良好	外 内断 灰黒 淡灰	反転復元
288	調査区一括	丹波 擂鉢	口 径 34.4 残存高 8.7 底 径 一	外面 横ナデ 内面 横ナデ オロシ印単位:8本	密(砂粒含む)	良好	外 内断 茶灰 暗茶灰 茶灰	反転復元
289	調査区一括	素 擂鉢	口 径 29.0 残存高 4.6 底 径 一	外面 横ナデ、口縁部 沈鏡2条 内面 横ナデ オロシ印単位:12本	密(砂粒含む)	良好	外 内断 橙 タマ	反転復元
290	調査区一括	唐津 里	口 径 12.1 器底径 3.25 高 底 42	外面 施釉、高台脇から露胎 内面 縦縫高台 施釉、口縁端部に黒褐色の施 見込み 脱土目窓	密	良好	釉 断 灰茶 淡茶	反転復元
291	調査区一括	唐津 里	口 径 11.8 器底径 3.1 高 底 42	外面 施釉、高台脇から露胎 内面 施釉、蛇ノ目高台 施釉	密	良好	釉 断 暗緑灰 明茶 淡茶	反転復元 貢入有り
292	調査区一括	唐津 里	口 径 13.0 残存高 2.45 底 径 一	外面 施釉、局部以下露胎 内面 施釉	密	良好	釉 断 白灰 茶灰白	反転復元 二次焼成
293	調査区一括	唐津系 縫縫釉 蓋	口 径 8.3 残存高 1.6 底 径 一	外面 天井部 施釉、鰐下露胎 内面 露胎	密	良好	釉 淡綠 淡茶灰 淡灰 内断	反転復元
294	調査区一括	波佐見 皿	口 径 19.0 器底径 4.5 高 底 9.5	外面 施釉、臺付け露胎 内面 施釉、半花文 見込み 蛇ノ目釉ハギ コニニヤク印単行花文	密	良好	釉 青灰白 染断 白灰	反転復元
295	調査区一括	瀬戸 うがい碗	口 径 11.5 器底径 5.15 高 底 3.9	外面 施釉、臺付け露胎 内面 型紙摺り 花文	密	良好	釉 染断 白 青白	反転復元
296	調査区一括	瀬戸 皿	口 径 9.4 器底径 5.3 高 底 5.3	外面 施釉、臺付け露胎 内面 施釉、型紙摺り 花文	密	良好	釉 染断 白 青白	
297	調査区一括	瀬戸 祭口	口 径 7.8 器底径 3.05 高 底 2.7	外面 施釉、臺付け露胎 内面 施釉、型紙摺り 花文 見込み 型紙摺り	密	良好	釉 青灰白 青白	
298	調査区一括	均整草文 軒平瓦	高さ 3.6 幅 24.4	瓦当 均整草文 内面 ハラ削り 凸面 ハラ削り 横ナデ	密(砂粒含む)	良好	瓦当 淡灰 白灰	

報告書抄録

ふりがな	うまがわいせき						
書名	馬川遺跡						
副書名	94-4区						
卷次							
シリーズ名	阪南市埋蔵文化財報告						
シリーズ番号	27						
編著者名	三好義三・田中早苗・上野仁						
編集機関	阪南市教育委員会生涯学習推進室						
所在地	599-0292 大阪府阪南市尾崎町35-1 TEL 0724-71-5678						
発行年月日	2001年3月31日						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所 在 地	コ 一 ド 市町村番号	北 緯 ° °'	東 經 ° °'	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
うまがわいせき 馬川遺跡	はんなんししまいで 阪南市下出	27232	39	342035	1351336	950124-950216	294 共同住宅
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物			特記事項
馬川遺跡	散布地	鎌倉～近世期	蜻蛉焼成土坑・ 土坑・溝・ピット・ 落ち込み	蜻蛉・瓦器・土師質土器・瓦質土器 瓦・陶器・磁器			



トレンチ南側（東より）



トレンチ北側（東より）



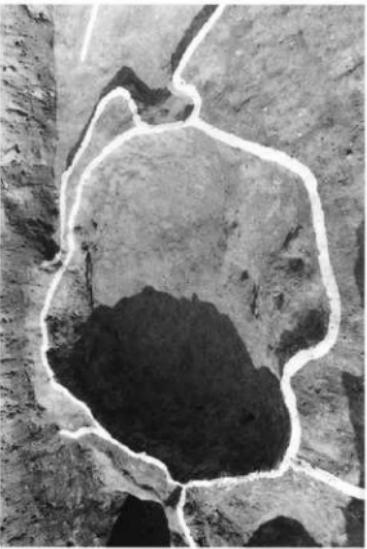
土坑1 潜物出土状況（南より）



土坑1（南より）遺跡除去後



土坑4・土坑5・土坑33・土坑34（南より）



土坑34（南より）



測6(南より)



上から土坑3・測6・測5(南より)



上から土坑32・土坑43・溝6・溝5（南より）



土坑32（南より）



土坑32裏側断面



上から土坑5・溝6・土坑13・溝5・土坑39（南より）



土坑30・土坑39（北より）



土坑39（東より）

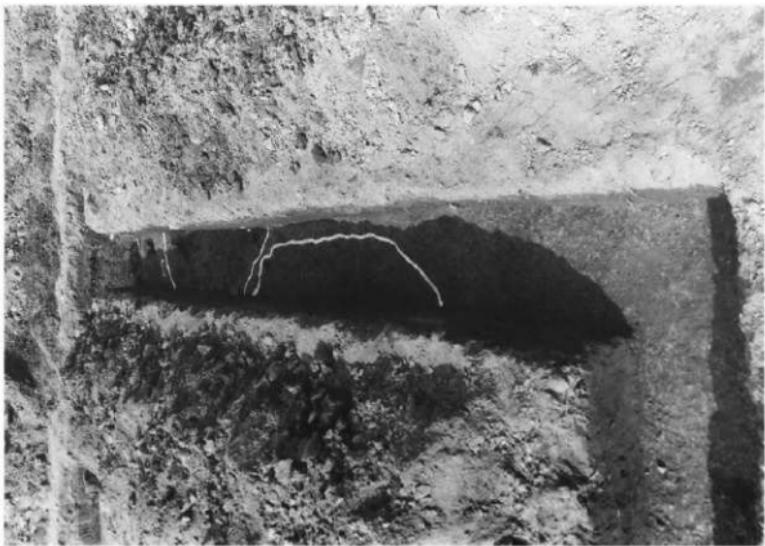


土坑39 煙突（東より）





土坑16（南より）



上から土坑6・土坑14（南より）



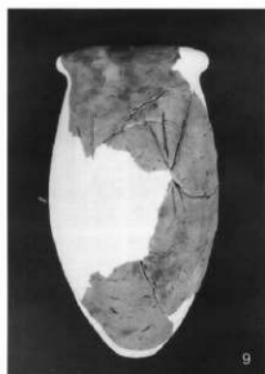
上から土坑42・土坑37・土坑38・土坑7（西より）



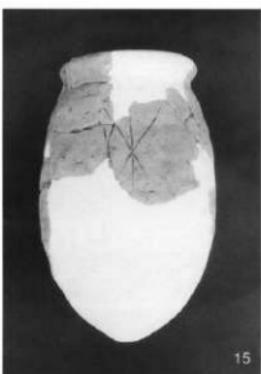
土坑38（北より）



土坑38 遺物出土状況（西より）



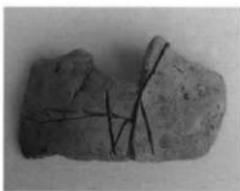
土坑1



土坑1



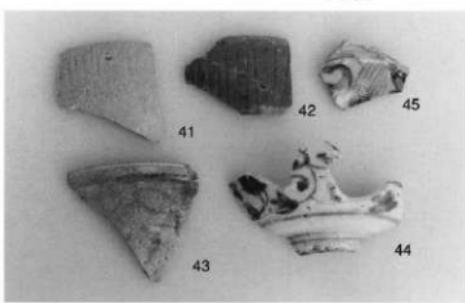
土坑1



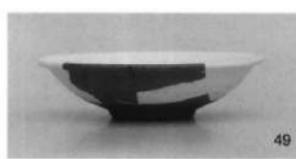
土坑1



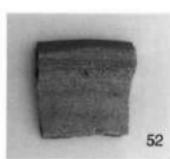
土坑1



土坑4



土坑9



土坑10



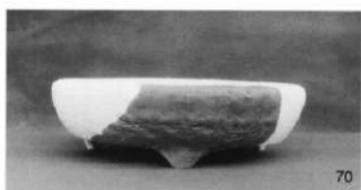
土坑20



土坑9



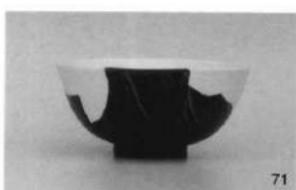
土坑20



土坑29



土坑29



土坑29



土坑29



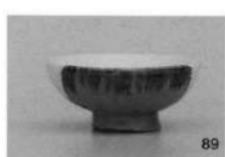
土坑29



土坑29



土坑29



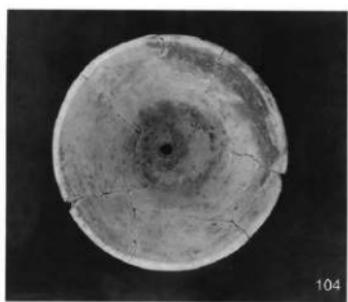
土坑29



土坑29



土坑32



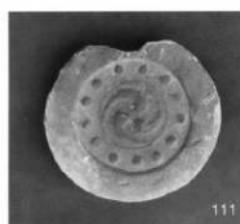
土坑32



土坑30



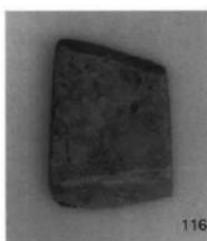
土坑33



土坑33



土坑33



土坑34



土坑39



土坑39



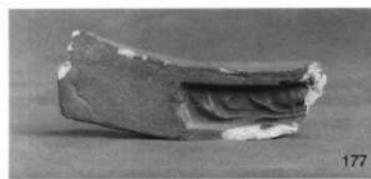
土坑41



土坑141



满1



土坑41



满5



土坑38



土坑38



土坑38



土坑38



土坑38



土坑38



土坑38



土坑38



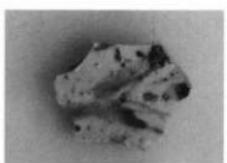
土坑38



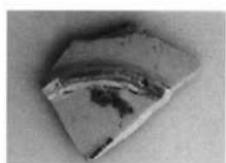
土坑38



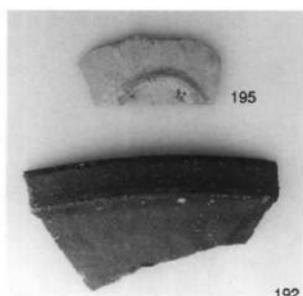
落ち込み



落ち込み



落ち込み



土器溜り



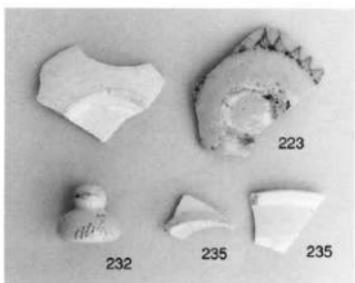
土器溜り



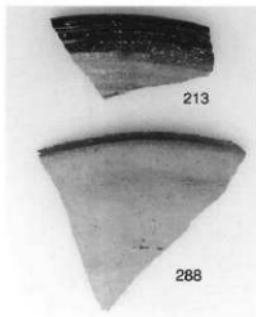
土器溜り



包含層



包含層



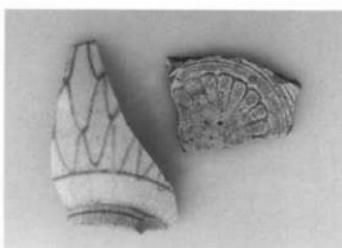
包含層



包含層



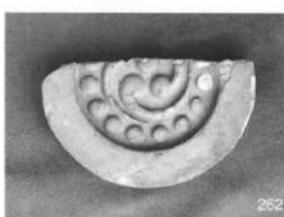
包含層



包含層



包含層



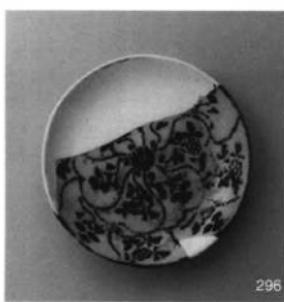
包含層



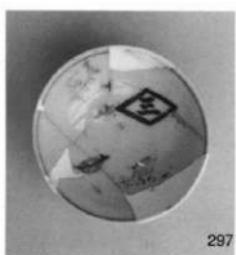
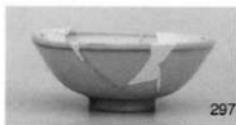
包含層



調査区一括



調査区一括



調査区一括

阪南市埋蔵文化財報告XXII

馬川遺跡
— 94-4区 —

2001年3月

発行：阪南市教育委員会生涯学習推進室
大阪府阪南市尾崎町35の1

印刷者：西岡総合印刷株式会社
和歌山市吹屋町5丁目54